

## 6 注意喚起種リスト 平成 24 (2012) 年度版

5の外来生物リストの附属リストの一つ目として、注意喚起種リストを作成しました。これは、隣接する都県にすでに定着している生物であったり、もしくは、これまでに県内での野生個体が排除されたが、将来的に県内に再侵入するおそれがあり、定着した場合侵略性が高い（在来

種の生育・生息や人間活動に顕著な影響がでるもの）と考えられる生物のリストです。今後、野外で発見された場合は、対策の緊急度や侵入の影響度は高くなる可能性が大きく、早期対策のための情報収集が必要な生物といえます。

表 注意喚起種リスト 平成 24 (2012) 年度版

	分類群	科名	和名	学名
1	軟体動物	コウラナメクジ科	マダラコウラナメクジ	<i>Limax maximus</i>
		茨城県内では分布を広げており、千葉県へも侵入する可能性が高い（長谷川ほか 2009）		
2	魚類	コイ科	タイワンタナゴ	<i>Tanakia himantegus</i>
		市場に流通しており、侵入したら繁殖定着の可能性あり		
3	魚類	ギギ科	コウライギギ	<i>Pseudobagrus fulvidraco</i>
		霞ヶ浦に生息しており、利根川経由で分布拡大の可能性あり（文献 7）		
4	魚類	セルサラムス科	ピラニア	<i>Serrasalminae</i> sp.
		カンジ目セルサラムス科セルサラムス亜科 ( <i>Serrasalminae</i> ) の総称。茨城県にて確認情報あり		
5	魚類	ドンコ科	ヨコシマドンコ	<i>Micropercops swinhonis</i> (Gunther, 1873)
		愛知県で定着。茨城県で発見されており、侵入定着の可能性あり		
6	爬虫類	イグアナ科	グリーンアノール	<i>Anolis carolinensis</i>
		神奈川県のある地域に小集団が定着し、すでに数年が経過しているという情報有（神奈川県立生命の星地球博物館）。		
7	哺乳類	リス科	クリハラリス	<i>Callosiurus erythraeus</i>
		別名タイワンリス。茨城県坂東市（目撃情報）、東京都、神奈川県、静岡県などで生息している。		

## 7 要検討種リスト 平成24(2012)年度版

ふたつめの附属リストとして、要検討種リストを作成しました。このリストは、これまでに野外で確認されているが、現時点では生息の可能性が低いもの、外来か在来かの判断がつかないもの、もしくは、両方の可能性があるもので在来である可能性の方が高いもの

のリストです(外来の可能性が高い場合は、予防原則にのっとり、本リストに掲載されています)。このリストの生物は、将来、野外調査や科学的知見の蓄積などにより、本リストに以降したり、要検討種リストから除外されたりする可能性があるものです。

表 要検討種リスト 平成24(2012)年度版

	分類群	科	和名	学名
1	シダ植物	サンショウモ科	ニシノオオアカウキクサ	<i>Azolla filiculoides</i> Lam.
			柏市(旧沼南町)で採取。オオアカウキクサ大和型。外来生物の可能性が高い(兵庫県博鈴木武氏)	
2	種子植物	イラクサ科	ツルマオ	<i>Gonostegia hirta</i> (Blume) Miq.
			国内外来生物の可能性あり	
3	種子植物	タデ科	ツルソバ	<i>Persicaria chinensis</i>
			国内外来生物の可能性あり	
4	種子植物	アブラナ科	ハマダイコン	<i>Raphanus sativus</i> L. var. <i>raphanistroides</i> Makino
			栽培植物の逸出の可能性あり	
5	種子植物	ユキノシタ科	ユキノシタ	<i>Saxifraga stolonifera</i> Meerb.
			国内外来生物の可能性あり	
6	種子植物	バラ科	マルバシャリンバイ	<i>Rhaphiolepis umbellata</i> (Thunb.) Makino var. <i>integerrima</i> Rehd.
			県外系統の可能性あり	
7	種子植物	トウダイグサ科	ヤマアイ	<i>Mercurialis leiocarpa</i> Siebold et Zucc.
			国内外来生物の可能性あり	
8	種子植物	ツリフネソウ科	オオキツリフネ	<i>Impatiens pallida</i> Nutt. aff.
			学名不明確	
9	種子植物	グミ科	ナワシログミ	<i>Elaeagnus pungens</i> Thunb.
			国内外来生物の可能性あり	
10	種子植物	グミ科	オオナワシログミ	<i>Elaeagnus x submacrophylla</i> Servett. (syn. <i>Elaeagnus nikaii</i> Nakai)
			国内外来生物起源の雑種	
11	種子植物	アカバナ科	ノダアカバナ	<i>Epilobium adenocaulon</i> Hassk.
			学名不明確	
12	種子植物	ヒシ科	オニビシ	<i>Trapa natans</i> L. var. <i>japonica</i> Nakai
			国内外来生物の可能性あり	
13	種子植物	キク科	カワラハハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> (L.) Benth. et Hook. f. var. <i>yedoensis</i> (Franch. et Sav.) Ohwi
			国内外来生物の可能性あり	
14	種子植物	キク科	クソニンジン	<i>Artemisia annua</i> L.
			史前帰化の可能性あり	

表 要検討種リスト 平成 24 (2012) 年度版 (つづき)

	分類群	科	和名	学名
15	種子植物	キク科	カワラニンジン	<i>Artemisia apiacea</i> Hance
		国内外來生物の可能性あり		
16	種子植物	キク科	ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> Willd. var <i>maximowiczii</i> (Nakai) H.Hara
		法面緑化として導入されている外來系統の逸出の懸念		
17	種子植物	イグサ科	ヒメコウガイゼキショウ	<i>Juncus bufonius</i> L.
		在來生物か外來生物か判定不能		
18	種子植物	ツクサ科	マルバツクサ	<i>Commelina benghalensis</i> L.
		北総の分布は外來の可能性あり		
19	種子植物	ツクサ科	シマツクサ	<i>Commelina diffusa</i> Burm.f.
		国内外來生物の可能性あり		
20	種子植物	イネ科	ホッスガヤ	<i>Calamagrostis pseudophragmites</i> (Haller fil.) Koeler
		緑化植物の種子に混入した国内外來生物の可能性あり		
21	種子植物	イネ科	トキワススキ	<i>Miscanthus floridulus</i> (Labill.) Warb.
		国内外來生物の可能性あり		
22	種子植物	イネ科	アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i> Herm.
		在來生物か外來生物か判定不能		
23	蘚苔類	ギボウシゴケ科	ケギボウシゴケ	<i>Grimmia pilifera</i> P. Beauv.
		国内外來生物の可能性あり		
24	蘚苔類	ギボウシゴケ科	チチレゴケ	<i>Ptychomitrium sinense</i> (Mitt.) A.Jaeger
		国内外來生物の可能性あり		
25	蘚苔類	ギボウシゴケ科	ナガバチチレゴケ	<i>Ptychomitrium linearifolium</i> Reim.
		国内外來生物の可能性あり		
26	蘚苔類	ギボウシゴケ科	コメバギボウシゴケ	<i>Schistidium liliputarum</i> (Muell.Hal.) Deguchi
		国内外來生物の可能性あり		
27	蘚苔類	ギボウシゴケ科	ホソバギボウシゴケ	<i>Schistidium strictum</i> (Turn.) O.Maert.
		国内外來生物の可能性あり		
28	軟体動物	ナメクジ科	ナメクジ	<i>Meghimatium bilineatum</i>
		在來生物 (史前歸化) か外來生物か判定不能		
29	軟体動物	イガイ科	ミドリイガイ	<i>Perna viridis</i>
		能動分散の可能性も充分考えられる		
30	軟体動物	マテガイ科	エゾマテ	<i>Solen krusensternii</i>
		近年の食用廃棄由来の外來群の可能性あり		
31	軟体動物	キヌマトイガイ科	ナミガイ	<i>Panopea japonica</i>
		近年の食用廃棄由来の外來群の可能性あり		
32	昆虫類	シロチョウ亜科	モンシロチョウ	<i>Pieris rapae</i>
		史前歸化の可能性あり		
33	昆虫類	シジミチョウ科	ウラゴマダラシジミ	<i>Artopoetes pryeri pryeri</i> (Murray, 1873)
		国内外來生物の可能性あり . 県 RDB 掲載種 (C).		

表 要検討種リスト 平成 24 (2012) 年度版 (つづき)

	分類群	科	和名	学名
34	昆虫類	ハムシ科	トビハムシ類	<i>Clitea</i> sp.
			レモントビハムシの可能性あり (文献 300).	
35	昆虫類	セイボウ科	クロバネセイボウ	<i>Chrysis angolensis</i> Radoszkowski
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
36	昆虫類	セイボウ科	ミドリセイボウ	<i>Praestochrysis lusca</i> (Fabricius)
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
37	昆虫類	アナバチ科	キゴシジガバチ	<i>Sceliphron madraspatanum</i> (Fabricius)
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
38	昆虫類	ミツバチ科	エサキムカシハナバチ	<i>Colletes esakii</i> Hirashima
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
39	昆虫類	シリアゲコバチ科	オキナワシリアゲコバチ	<i>Leucospis sinensis</i> Walker
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
40	昆虫類	クモバチ科	ツマアカクモバチ	<i>Tachypompilus analis</i> (Fabricius)
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
41	昆虫類	ドロバチ科	フカイオオドロバチ	<i>Rhychium quinquecinctum</i> (Fabricius)
			南方からの北進種で分布拡大に人為的要素の疑いがある.	
42	魚類	コイ科	アカヒレタビラ	<i>Acheilognathus tabira erythropterus</i>
			在来生物か外来生物か判定不能.	
43	魚類	カラシン科	コロソマ	<i>Colossoma macropomum</i>
			過去の生息情報が不確か.	
44	魚類	カワスズメ科	ナイルテラピア	<i>Oreochromis niloticus</i>
			観賞魚ではなく、定着の可能性低い.	
45	魚類	タイワンドジョウ科	コウタイ	<i>Channa asiatica</i>
			利根川で発見されたが、未定着. 今後定着の可能性低い.	
46	爬虫類	スッポン科	スッポン	<i>Perodiscus sinensis</i>
			在来か外来か不明.	
47	爬虫類	ヤモリ科	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>
			在来か外来か不明.	
48	哺乳類	カンガルー科	ワラビー類	<i>Macropodidae</i> sp.
			1990 年代に複数の目撃情報あり. 繁殖定着情報はなし.	

## 8 引用文献

- 1) 我孫子市野鳥を守る会 編纂委員会 . 1994. 手賀沼の鳥 -20 年の観察記録 -. p.165, 我孫子市野鳥を守る会, 我孫子市 .
- 2) 藍憲一郎・尾崎真澄 . 2007. 夷隅川水系および養老川水系におけるカワウ *Phalacrocorax carbo hanedae* の食性 . 千葉県水産総合研究センター研究報告 (2): 43-51.
- 3) 藍憲一郎・尾崎真澄 . 2008. 千葉水総研報 3:15-20.
- 4) 藍沢亨・水久保隆之・伊藤賢治・中野昭雄 . 2002. 徳島県のレンコンから分離されたネモグリセンチュウ (*Hirschmanniella* sp.) の形態と計測値 . 第 46 回応動昆虫大会講演要旨, p. 32. 日本応用動物昆虫学会, 東京 .
- 5) 雨宮将人 . 2009. 白井市のカメムシ目 (異翅亜目・頸吻亜目). 白井市 . 2009.
- 6) 青木直芳, 2008. 我孫子市で採集した甲虫 6 種について . 房総の昆虫 (40) : 34.
- 7) 荒山和則・松崎慎一郎・増子勝男・萩原富司・諸澤崇裕・加納光樹・渡辺勝敏 . 2012. 霞ヶ浦における外来種コウライギギ (ナマズ目ギギ科) の採集記録と定着のおそれ . 魚類学雑誌 ,59(2): 141-146.
- 8) 浅田正彦 . 2011. 千葉県におけるイノシシの分布、捕獲、被害状況 (2009 年度). 千葉県生物多様性センター研究報告 3:49-64.
- 9) 浅田正彦 . 2011. 千葉県におけるキョンの分布域および個体数推定 (2010 年). 千葉県生物多様性センター研究報告 3:36-43.
- 10) 浅田正彦・直井洋司・阿部晴恵・葦沢雄希 . 2001. 房総半島におけるイノシシ (*Sus scrofa* Linnaeus, 1758) の生息状況 . 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 6: 201-207.
- 11) 浅田正彦・落合啓二・長谷川雅美 . 2000. 房総半島及び伊豆大島におけるキョンの帰化・定着状況 . 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 6: 87-94.
- 12) 浅田正彦・篠原栄里子 . 2009. 千葉県におけるアライグマの個体数試算 (2009 年). 千葉県生物多様性センター研究報告 1:30-40.
- 13) 朝比奈正二郎 . 1991. 日本産ゴキブリ類 . p.253, 中山書店, 東京 .
- 14) 朝倉彰 . 1992. 東京湾の帰化生物：都市生態系における移入の過程と定着成功の要因に関する考察 . 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 2: 1-14.
- 15) 浅野貞夫 (1968) 上総丘陵にもアメリカアゼナ帰化す . 植物採集ニュース (38):20.
- 16) 伴浩治 . 1980. アメリカザリガニ：侵略成功の鍵 . In: 川合禎次・川那部浩哉・水野信彦 (編), 日本の淡水生物：侵略と攪乱の生態学, pp. 37-43. 東海大学出版会, 神奈川 .
- 17) バードライフインターナショナル (総監) 山岸哲 (日本語版総監督) . 2009. 世界鳥類大図鑑 . 191 pp. 株式会社ネコ・パブリッシング, 東京 .
- 18) NPO 法人房総の野生生物調査会 (編). 2005. 平成 16 年度房総半島における野生猿管理対策調査研究事業報告書 . 60 pp. 千葉県環境生活部自然保護課 .
- 19) 房総のシカ調査会 (編). 2001. 千葉県イノシシ・キョン管理対策調査報告書 1. 95 pp. 千葉県環境部自然保護課・房総のシカ調査会, 千葉 .
- 20) 房総のシカ調査会 (編). 2002. 千葉県イノシシ・キョン管理対策調査報告書 2. 97 pp. 千葉県環

- 境生活部自然保護課・房総のシカ調査会, 千葉.
- 21) 房総のシカ調査会 (編). 2007. 平成 18 年度外来種緊急特別対策事業(キョンの生息状況等調査). 88 pp. 千葉県環境生活部自然保護課・房総のシカ調査会, 千葉.
- 22) 房総のサル管理調査会 (編). 1999. 平成 10 年度房総半島における野生猿管理対策調査研究事業報告書. 124 pp. 千葉県環境部自然保護課・房総のサル管理調査会, 千葉.
- 23) 千葉県. 2008. 平成 20 年度病害虫発生予察特殊報第 3 号 (千葉県). H20.11.28.
- 24) 千葉県病害虫防除所. 2001. トマトハモグリバエの発生について. 平成 13 年度発生予察特殊報 (3): 2.
- 25) 千葉県病害虫防除所. 2004. アルファルファタコゾウムシの発生について. 平成 16 年度病害虫発生予察特殊報 (1): 2.
- 27) 千葉県教育委員会. 1996. 平成 5~7 年天然記念物「ミヤコタナゴ」保護増殖調査事業報告書. 千葉県.
- 28) 千葉県内水面水産試験場. 2000. 平成 10 年度千葉県内水面水産試験場事業報告. 38 pp. 千葉県, 千葉.
- 29) 千葉県内水面水産研究センター. 2004. 平成 14 年度千葉県内水面水産研究センター事業報告. 33 pp. 千葉県, 千葉.
- 30) 千葉県農林総合研究センター. 2012. 平成 24 年度病害虫発生予察特殊報第 2 号.
- 31) 千葉県農林総合研究センター. 2010. 平成 22 年度病害虫発生予察特殊報第 1 号.
- 32) 千葉県農林総合研究センター. 2010. 平成 22 年度病害虫発生予察特殊報第 2 号.
- 33) 千葉県農林水産部担い手支援課専門普及指導室. <http://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/network/h21-fukyuu/gaichuu.html> (2012/3/5 確認).
- 34) 千葉県生物学会. 1975. 新版千葉県植物誌. 567 pp. 井上書店.
- 35) 千葉県生物学会 (編). 1999. 千葉県動物誌. 1248 pp. 文一総合出版, 東京.
- 36) 千葉県史料研究財団 (編). 1998. 千葉県の自然誌本編 4. 千葉県の植物 I- 細菌類・菌類・地衣類・藻類・コケ類 -. 837 pp. 千葉.
- 37) 千葉県史料研究財団 (編). 2002. 千葉県の自然誌、本編 6、千葉県の動物 1 - 陸と淡水の動物 -. VII + 988 pp. 千葉.
- 38) 千葉県史料研究財団 (編). 2003. 千葉県の自然誌資料, 千葉県産動物総目録. XI+379 pp. 千葉.
- 39) 千葉県史料研究財団. 2003. 千葉県植物誌 (県史シリーズ 51. 千葉県の自然誌別編, 4). 1181 pp. 千葉.
- 40) 近田文弘・清水建美・浜崎恭美. 2006. 帰化植物を楽しむ. 239 pp. トンボ出版.
- 41) Goodwin, D. 1970. Pigeons and doves of the world. p.363, Cornell Univ Pr., Hampshire.
- 42) 江川和文. 1985. シマメノウフネガイの分布とその伝搬状況. ちりばたん 16(2): 37-44.
- 43) 江崎悌三・一色周知・六浦晃・井上寛・岡垣弘・緒方正美・黒子浩. 1984. 原色蛾類図鑑上. 保育社, 大阪.
- 44) 江崎悌三・一色周知・六浦晃・井上寛・岡垣弘・緒方正美・黒子浩. 1984. 原色蛾類図鑑下. 保育社, 大阪.
- 45) Fooden, J. (2000). Systematic review of the rhesus macaque, *Macaca mulatta* (Zimmermann, 1780).

- Fieldiana Zool. (new ser.) . 96:1-180.
- 46) 吹春俊光 . 2004. 植物一菌類 (きのこ) . In 変わりゆく千葉県の自然 (千葉県の自然誌本編, 8) , pp.417-425. 千葉県史料研究財団 . 千葉 .
- 47) 吹春俊光・服部力・腰野文男・大作晃一・野村麻結実・堀米礼子 . 1995. 千葉県菌類誌 (I) 千葉県産大型担子菌類相 . 中博自報特別号 (2): 125-155.
- 48) 吹春俊光・腰野文男・服部力・大作晃一・小沼良子 . 2002. 千葉県菌類誌(II) 大型担子菌類追加目録 . 中博自報特別号 (5) : 95-110.
- 49) 福田寛・河名利幸・久保田篤男・早瀬猛 . 1991. ミカンキイロアザミウマの発生と防除 . 関東東山病虫会年報 (38): 231-233.
- 50) 船橋市 . 2002. 昆虫調査 . In: 船橋市の自然, 環境, 船橋市内環境調査報告書 [本編] pp. 84-103.
- 52) 風呂田利夫 . 2001. 東京湾における人為的影響による底生動物の変化 . 月刊海洋 33(6): 437-444.
- 53) 風呂田利夫・木下今日子 . 2004. 東京湾における移入種イッカクグモとチチュウカイミドリガニの生活史と有機汚濁による季節的貧酸素環境での適応性 . 日本ベントス学会誌 59: 96-104.
- 54) 古木達郎 . 2000. 日本新産の *Riccia lamellosa* Raddi (ウロコハタケゴケ、新称) . 蘚苔類研究 7: 314-316.
- 55) 古木達郎 . 2000. 佐倉市のコケ植物相 . In: 佐倉市自然環境調査団 (編), 佐倉市自然環境調査報告書, 113-120 pp. 佐倉市経済環境部環境保全課, 千葉 .
- 56) 古木達郎 . 2000. 下総台地における蘚苔類相—各環境における生育状況— . In 千葉県臨海開発地域等動植物影響調査会 (編), 開発地域等における自然環境モニタリング手法に係る基礎調査 III, pp.9-14. 千葉県環境部環境調整課, 千葉 .
- 57) 古木達郎 2004. ウロコハタケゴケの新産地 . 蘚苔類研究 8: 278-279.
- 58) 古木達郎 2009. 白井市のコケ植物 . 白井市生物多様性調査報告書, pp. 7-20. 白井市 . 千葉 .
- 59) 古木達郎・高宮宏 2002. 千葉県東金市のコケ植物, 千葉中央博自然誌研究報告特別号 4: 79-93.
- 60) 外来種影響・対策研究会 . 2001. 河川における外来種対策に向けて [案] . リバーフロント整備センター .
- 61) 五味正志 . 1997. アメリカシロヒトリの日本への侵入と季節対応 . インセクタリアム (34): 320-325.
- 62) 五百沢日丸 . 2000. 日本の鳥 550 山野の鳥 . p. 359, 文一総合出版, 東京 .
- 63) 波部忠重 . 1973. 軟体動物 . In: 上野益三 (編), 川村多實二 (原著), 日本淡水生物学, pp. 309-341. 北隆館, 東京 .
- 64) 波部忠重 . 1980. 新移入二枚貝イガイダマシ (新称) . ちりぼたん 11(3): 41-42.
- 65) 萩原光・相澤敬吾・蒲谷肇・川本芳 . 2003. 房総半島の移入種を含むマカカ属個体群の生息状況と遺伝的特性 . 霊長類研究 (19): 229-241.
- 66) 萩原光・川本芳 . 2001. 房総半島におけるニホンザルと外来種の混血に関する研究 . 霊長類研究所年報 (32): 147.
- 67) 原田豊秋 . 1984. 家屋内で見受けられる食品害虫について (2). In: 日本家屋害虫学会 (編), 家屋害虫, pp. 127-137. 井上書院, 東京 .
- 68) 原田晴康・滝沢春雄 . 2012. 日本における侵入害虫タバコノミハムシの発生 . 日本応用動物昆虫

- 学会誌 56:117-120.
- 69) 原川 隆司・玉内登志雄. 2006. ドバト公害に対する当院の取り組み. 日本農村医学会雑誌 55(3):443.
- 70) 長谷川雅美・小賀野大一. 1998. 房総半島南部で発見されたヌマガエル、その分布範囲と生息状況・爬虫両生類学会報 1998 (1): 193-194. (雑誌の年号 要確認)
- 71) 初島住彦・天野鉄夫. 1994. 増補訂正琉球植物目録. 沖縄生物学会.
- 72) 早瀬猛・福田寛. 1991. ミカンキイロアザミウマの発生と見分け方. 植物防疫 (44): 59-61.
- 73) 林長閑. 1984. 家屋・食品に見られる鞘翅目(甲虫目)の形態と生態. In: 日本家屋害虫学会(編), 家屋害虫. pp. 24-47. 井上書院, 東京.
- 74) 林弥栄・平野隆久. 1989. 野に咲く花. 623pp. 山と溪谷社, 東京.
- 75) 林匡夫・木元新作・森本桂(編著). 1984. 原色日本甲虫図鑑. vii+438 pp. 保育社, 大阪.
- 76) 林川修二. 1999. 鹿児島におけるアルファルファタコゾウムシの発生動. 植物防疫 (53): 419-422.
- 77) 足田努・鈴木大. 2010. 江戸本草書から推定される日本産クサガメの移入. 爬虫両棲類学報 2010(1):41-46.
- 78) 久内清孝. 1950. 帰化植物. 272 pp. 科学図書出版会.
- 79) 北陸の植物 5,8,10,19,20.
- 80) 堀繁久. 2003. 北海道に侵入したオオタコゾウムシ. *Jezoensis* (29): 71-72.
- 81) 五十嵐博. 2000. 北海道帰化植物便覧. 195 pp. 北海道野生植物研究所.
- 82) いがりまさし. 1996. 日本のスミレ. 247 pp. 山と溪谷社.
- 83) 飯島明子. 2004. 市川市の海域及び汽水域における底生動物・魚類目録. In: 市川市自然環境実態調査報告書 2003, pp. 461-504. 市川市・市川自然環境調査会, 千葉.
- 84) 飯島明子・黒住耐二・風呂田利夫. 2002. 東京湾の人工潟湖に形成された絶滅危惧種の干潟産腹足類カワアイ *Cerithidea djadjariensis* (Martin) (軟体動物門, 腹足綱) の個体群. 日本ベントス学会誌 57: 34-37.
- 85) 稲葉亨. 1975. Non-marine mollusks of Chiba prefecture (仮). 12 pp. 自刊.
- 86) 井上寛. 1982. アメリカシロヒトリ. In: 井上寛・杉繁郎・黒子浩・森内茂・川辺湛. 日本蛾類大図鑑 I, pp. 653-654. 講談社, 東京.
- 87) 井上寛・杉繁郎・黒子浩・森内茂・川辺湛. 1982. 日本蛾類大図鑑 I. 966 pp. 講談社, 東京.
- 88) 石鍋寿寛・望月賢二. 2005. 観音崎自然博物館のミヤコタナゴ保全の取り組みと成果. たたらはま (18・19):2-11.
- 89) 石島秋彦. 2006. 移入種イスパニアマイマイの駆除と新たな生息地. ちりぼたん 36(4): 119-122.
- 90) 石川千秋・河野幹幸・渡辺勇・藤井正巳・下畑次夫. 1981. カキ及びナシの果実を加害するアオマツムシ. 植物防疫 (35): 73 - 75.
- 91) 石川忠・高井幹夫・安永智秀. 2012. 日本原色カメムシ図鑑第3巻. 全国農村教育協会
- 92) 一色周知. 1969. ナシヒメシンクイ. In: 原色日本蛾類幼虫図鑑 下. 86 p. 保育社, 大阪.
- 93) 伊藤敏仁 (2001) 清和県民の森及びその周辺の昆虫. In: 平成 12 年度自然環境保全地域等変遷調査報告書, pp. 82-99.

- 94) 伊藤洋 1998. 埼玉県植物誌 . 833pp. 埼玉県教育委員会 .
- 95) 伊藤健二 . 2008. 利根川水系におけるカワヒバリガイ *Limnoperna fortunei* の分布状況 . 日本ベントス学会誌 . 63:30-34.
- 96) 伊藤嘉昭 (編). 1972. アメリカシロヒトリ一種の歴史の断面 . 185 pp. 中央公論社 , 東京 .
- 97) 岩崎敬二・木村妙子・木下今日子・山口寿之・西川輝昭・西榮二郎・山西良平・林育夫・大越健嗣・小菅丈治・鈴木孝男・逸見泰久・風呂田利夫・向井宏 . 2004. 日本における海産生物の人為的移入と分散 : 日本ベントス学会自然環境保全委員会によるアンケート調査の結果から . 日本ベントス学会誌 59: 24-44.
- 98) 岩瀬徹 . 1956. 帰化植物数種 . 千葉生物誌 6 (4):96.
- 99) 岩瀬徹・小滝一夫 . 1958. 帰化植物の生態 . In 千葉県植物誌 . pp. 101-119. 千葉県生物学会 .
- 100) 岩月善之助・出口博則・古木達郎 2001. 日本の野生植物コケ . 355pp. 平凡社 , 東京 .
- 101) 角野康郎 1994. 日本水草図鑑 . 文一総合出版 , 東京 .
- 102) 科学朝日 31.
- 103) 香川晴彦・柴田忠裕・吹春俊光・堀江義一 . 1994. 各種薬剤によるタマハジキタケ属菌のグラハ塊飛散抑制効果 . 関東東山病害虫研究会年報 (41):161-162.
- 104) 梶原武 . 1985. ムラサキイガイー浅海域における侵略者の雄 . In : 沖山宗雄・鈴木克美 (編), 日本の海洋生物 . 侵略と攪乱の生態学 , pp. 49-54. 東海大学出版会 , 東京 .
- 105) 梶山誠 . 1996a. 亀山湖におけるオオクチバス *Micropterus salmoides* の食性 . 千葉県水産総合研究センター内水面水産試験場研究報告 (6): 7-14.
- 106) 梶山誠 . 1996b. 栗山川の魚類・甲殻類目録 . 千葉県水産総合研究センター内水面水産試験場研究報告 (6): 47-52.
- 107) 亀澤洋 . 2011. 千葉県でゴモクムシダマシを採集 . 房総の昆虫 (48):51-52.
- 108) 上條宰 . 2002. 外来種ハンドブック . p.386, 株式会社 地人書館 , 東京 .
- 109) 神奈川県立生命の星・地球博物館 . 2001. 神奈川県植物誌 2001. 1580 pp. 神奈川県植物誌調査会 , 神奈川 .
- 110) 神奈川自然誌資料 18,20,21.
- 111) 金丸但馬 . 1935. 貝類の附隨並に歸化 . Venus 5(2/3): 145-149.
- 112) 金子久男・金子和子・古木達郎 . 2009. 千葉県習志野市のコケ植物 , 千葉中央博自然誌研究報告 10: 33-44.
- 113) 環境省編 . 2004. ブラックバス・ブルーギルが在来生物群集及び生態系に与える影響と対策 . 226pp., 自然環境研究センター , 東京 .
- 114) 環境省野生生物保護対策検討会移入種問題分科会 (移入種検討会) (2002) 移入種 (外来種) への対応方針 pdf 文書 (<http://www.env.go.jp/nature/report/h14-01/honpen.pdf>).
- 115) 環境管理センター . 1996a. 千葉県北部地区亀成川他生態系調査報告書 , 環境管理センター , 東京 .
- 116) Kano, Y. 1996. A revision of the species previously known as *Hawaiia minuscula* in Japan and the discovery of the *Helicodiscidae*, the family new to Japan. The Yuriyagai (4): 39-59.
- 117) 柏市でアカボシゴマダラを確認 . 房総の昆虫 (48):38-39.
- 118) 片野修・佐久間徹・岩崎順・喜多明・尾崎真澄・坂本浩・山崎裕治・阿部夏丸・新見克也・上

- 垣雅史 .2010. 日本におけるチャネルキャットフィッシュの現状 . 保全生態学研究 15:147-152.
- 119) 川辺湛 . 1982. *Grapholia molesta* (Busck) ナシヒメシンクイ . In: 井上寛・杉繁郎・黒子浩・森内茂・川辺湛 . 日本産蛾類大図鑑 I . p.146 講談社 , 東京 .
- 120) 河合章 . 1990. 施設野菜における害虫管理 : ミナミキイロアザミウマの管理 . 植物防疫 (44) : 341 - 344.
- 121) 河合省三 . 1980. 日本原色カイガラムシ図鑑 . viii+455 pp. 全国農村教育協会 , 東京 .
- 122) 川上和人 . 2012. 外来鳥ハンドブック . 80pp. 文一総合出版 .
- 123) 川本芳・萩原光・相澤敬吾 . 2004. 房総半島におけるニホンザルとアカゲザルの交雑 . 霊長類研究 (20): 89-95.
- 124) 川名 興・天野 誠・大場達之 . 2000. ツノミチヨウセンアサガオとオオセンナリの帰化 . 千葉県植物誌資料 18:129.
- 125) 河名利幸・福田寛 . 1992. タバココナジラミ防除薬剤の検討 . 関東東山病虫研究会年報 (39): 215-218.
- 126) 河名利幸・福田寛・清水喜一 . 1990. タバココナジラミの防除法の検討 . 関東東山病虫研究会年報 (37): 209-211.
- 127) 川那部浩哉・水野信彦 (編・監修) . 1989. 日本の淡水魚 . 720 pp. 山と溪谷社 , 東京 .
- 128) 河濟英子・古木達郎 . 2005. 日本新産の *Riccia nigrella* DC. (サビイロハタケゴケ、新称) . 蘚苔類研究 9: 6-11.
- 129) 亀澤洋 . 2011. 千葉県でゴモクムシダマシを採集 . 房総の昆虫 (48):51-52.
- 130) Kimura, T., M. Tabe., and Y. Shikano. 1999. *Limnoperna fortunei kikuchii* Habe, 1981 (Bivalvia: Mytilidae) is a synonym of *Xenostrobus securus* (Lamarck, 1819): introduction into Japan from Australia and/or New Zealand. *Venus* 58(3): 101-117.
- 131) 木村陽子・勝山輝男 . 2000. 千葉県のホオズキ属 (ナス科) について . 千葉県植物誌資料 15:113-116.
- 132) 木村昭一 . 2002. 熱田神宮の貝類相 . かきつばた (28): 24-25.
- 133) 木村陽子 . 1989. 船橋市・海浜公園の帰化植物 3 種 . 千葉生物誌 39 (1) : 32-33.
- 134) 木村陽子 . 2003. イネ科 . In: 千葉県植物誌 (県史シリーズ 51. 千葉県の自然誌別編, 4) , pp. 711-787 & 789-791. 千葉県 .
- 135) 木下覚・小山博滋・小川誠・太田道人 . 2000. 帰化植物ナルトサワギクの学名 . 植物分類・地理 50(2):243-246.
- 136) 岸洋一 . 1988. マツ材線虫病 (松くい虫) 精説 . 292 pp. トーマスカンパニー , 東京 .
- 137) 岸田泰則 (編) . 2011. 日本産蛾類標準図鑑 I . 333pp. 学研 , 東京 .
- 138) 北村四郎 . 1962. ペラペラヨメナ . 植物分類・地理 20(1).119.
- 139) 北村四郎 . 1962. コゴメギクとハキダメギク . 植物分類・地理 20(1).179.
- 140) 小林頼太・長谷川雅美 . 2005a. 千葉県印旛沼流域における外来種ミナマイシガメの定着について . 爬虫両生類学会報 2005 (2): 150-154.
- 141) 小林頼太・長谷川雅美 . 2005b. 関東平野におけるアフリカツメガエルの確認記録と定着可能性 .

- 爬虫両生類学会報 2005 (2): 169-172.
- 142) 小島裕子 . 1971. 木更津及びその近郊で採った帰化植物 . 植物採集ニュース (53):57.
- 143) 小島裕子 . 1970. 木更津貝淵埋め立て地の帰化植物 . 千葉生物誌 19 (1) : 1-2
- 144) 小島裕子 . 1970. 木更津市およびその周辺地区の帰化植物 . みちくさ創刊号 (木更津みちくさ会) : 11-16.
- 145) Kojima S, S Ozeki, A Iijima, K Okoshi, T Suzuki, I Hayashi, and T Furota. 2008. Genetic characteristics of three recently discovered populations of the tideland snail *Cerithidea djadjariensis* (Martin) (Mollusca, Gastropoda) from the Pacific coast of the eastern Japan. *Plankton and Benthos Research*. 3: 96-100.
- 146) 小島 弘昭 . <http://kogane.wem.sfc.keio.ac.jp/jwdb/index.html> (2012/2/23 確認) .
- 147) 国立環境研究所 侵入生物データベース . <http://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/> (2013/2/18 確認)
- 148) 小松崎一雄 . 1967. 千葉県白井にアメリカアゼナが現れた . 植物採集ニュース (30):43
- 149) 高知県病害虫防除所 . 2003.
- 150) 小山博滋 . 1978. 帰化植物チチコグサモドキとその仲間 . 植物分類・地理 29(1-5): 129-130.
- 151) 倉西良一 . 1996. 千葉市の淡水 (大型) 無脊椎動物 . In: 千葉自然環境調査会 (編) , 千葉市の野生動植物の生息状況及び生態系調査報告書 , pp. 873-886. 千葉市環境衛生局環境部 , 千葉 .
- 152) 倉西良一・倉西森大 . 2003. 千葉県鴨川市でサツマゴキブリを採集 . 房総の昆虫 (29): 43.
- 153) 黒田長久・森岡弘之 (監修) . 1987. 世界の動物 分類と飼育 10- I [キジ目] . 175 pp. 東京動物園協会 , 東京 .
- 154) 黒田徳米 . 1958. 日本及び隣接地域産陸棲貝類相 (4). *Venus* 20(1): 132-158.
- 155) 黒田徳米 . 1959. 日本及び隣接地域産陸棲貝類相 (5). *Venus* 20(4): 363-380.
- 156) 黒田徳米 . 1963. 日本非海産貝類目録 . v+71 pp. 日本貝類学会 , 東京 .
- 157) 黒住耐二 . 1994. 導入植生への陸産貝類の分散について . 千葉中央博自然誌研究報告 , 特別号 (1): 235-244.
- 158) 黒住耐二 (編) . 2003. 多摩川水系の貝類からみた自然環境の現状把握と保全に関する研究 . (財) とうきゅう環境浄化財団 . 研究助成・学術研究 31(226): 1-242. (財) とうきゅう環境浄化財団 , 東京 .
- 159) 黒住耐二 . 2006. 貝類を中心とした小形動物からみた人工海浜の環境の評価と新たな海浜環境の創出 . In: 萩野康則・黒住耐二 (編) , 生物多様性を指標とした人工海浜および護岸の環境影響評価と新たな人工海岸創出の検討 (科研費報告書) , pp. 39-61. 千葉県立中央博物館 , 千葉 .
- 160) 黒住耐二・岡本正豊 . 1996. 千葉市の貝類 2. 湾岸域の貝類相 . In: 千葉自然環境調査会 (編) , 千葉市の野生動植物の生息状況及び生態系調査報告書 , pp. 623-685. 千葉市環境衛生局環境部 , 千葉 .
- 161) 黒住耐二・岡本正豊 . 2002. 近年、南関東に定着した移入貝類 . *Venus* 61(1/2): 111. (要旨)
- 162) 黒住耐二・尾崎煙雄・大木淳一 . 2004. 房総丘陵のダム湖における淡水産貝類の種組成と生態分布 . 千葉中央博自然誌研究報告 , 特別号 (6): 33-42.
- 163) 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之 . 1985. 原色日本甲虫図鑑 I ~ III . 保育社 , 大阪 .

- 164) Brown, L. H., E. K. Urban and K. Newman. 1982. The Birds of Africa Volume I . p. 521, Academic Press, ロンドン .
- 165) 牧野富太郎 1989. 改訂増補牧野新日本植物図鑑 . 1453pp. 北隆館 .
- 166) Brazil, M. 2009. Field Guide to the Birds of East Asia. p.528, 1010 Printing International Ltd , 中国 .
- 167) 丸山為蔵・藤井一則・木島利通・前田弘 . 1987. 外国産新魚種の導入経過 . 157 pp. 水産庁研究部資源課・養殖研究所, 東京 .
- 168) 丸山宗利・斉藤明子・信太利智・佐野正和, 2000. 昆虫目録, 佐倉市の昆虫類. 佐倉市自然環境調査報告書 : 239-310. 佐倉市
- 169) 間瀬欣弥 . 1969. 相模でとれたネコゼフネガイ . ちりぼたん 5(6): 156-157.
- 170) 増田修・河野圭典・片山久 . 1998. 西日本におけるタイワンシジミ種群とシジミ属の不明種の産出状況 . 兵庫陸水生物 (49): 22-35.
- 171) 増田修・内山りゅう . 2004. 日本産淡水貝類図鑑② 汽水域を含む全国の淡水貝類 . 240 pp. ピーシーズ, 東京 .
- 172) 松隈明彦 . 2008. オオクビキレガイ関東に侵入 . 九州大学総合博物館ニュース , (11):5.
- 173) 松田征弥・上西実 . 1992. 琵琶湖に侵入したカワヒバリガイ (Mollusca; Mytilidae) . 滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要 (10): 45.
- 174) 松本英明 . 1997. 北海道未記録および希少なゴミムシ類 5 種 . 層雲峡博物館研究報告 (17): 25-26.
- 175) 松隈明彦 . 2008. オオクビキレガイ関東に侵入 . 九州大学総合博物館ニュース , (11):5.
- 176) 松沢陽士・瀬能宏 . 2008. 日本の外来魚ガイド . 157 pp. 文一総合出版 . 東京 .
- 177) 三平東作 . 2002. イマムラネモグリセンチュウの寄生によるレンコン黒皮線虫病 (新称) の発生 . 千葉農業総合研究センター研究報告 (1): 121-124. 千葉 .
- 178) 湊宏 . 2005. 双島 (串本町) の陸産貝類, 特にミジンマイマイ類の分類について . 南紀生物 47(1): 37-42.
- 179) 宮内博至, 2005. 下総町でヒメヒラタシデムシ、ホシカムシ類採集 . 房総の昆虫 (34) : 72
- 180) 宮内博至・山崎秀雄, 2012. 千葉県市川市域の江戸川河川敷の昆虫 . 市史研究いちかわ (3) : 37-58, 4pls. 市川市.
- 181) 宮崎惇 . 1985. ラプラタリンゴガイの呼び名 . ちりぼたん 16(1): 28-29.
- 182) 水草研究会会報 46,48,52,55-57,59.
- 183) 森本桂 . 1988. 日本へ侵入したゾウムシ類の見分け方と被害 . 農業研究 35(1): 28-44.
- 184) Morino, H., H. Kusano and J. R. Holsinger. 2004. Description and distribution of *Crangonyx floridanus* (Crustacea: Amphipoda: Crangonyctidae) in Japan, an introduced freshwater amphipod from North America. Contr. biol. Lab. Kyoto Univ., 29: 371-381.
- 185) 森岡弘之・福田道雄・住吉尚・橋崎文隆・平岡英忠 . 1989. 世界の動物 分類と飼育 10 II [ツル目] . p.179, どうぶつ社, 東京 .
- 186) 森津孫四郎 . 1983. キョウチクトウアブラムシ . In: 森津孫四郎, 日本原色アブラムシ図鑑, p. 401, p.545 全国農村教育協会, 東京 .
- 187) 諸喜田茂充 . 1984. 帰化動物 . In: 沖縄の生物編集委員会 (編), 沖縄の生物, pp. 377-384. 沖縄

生物教育研究会, 沖縄.

- 188) 村山茂樹・倉西良一. 2001. 東京湾埋立地の湿性環境における大型無脊椎動物相—幕張海岸埋立地の軟体動物と昆虫—. 東京湾学会誌 1(5): 156-163.
- 189) 永野歩・梶山誠. 2000. 小櫃川におけるオオクチバス *Micropterus salmoides* の食性. 千葉県水産総合研究センター内水面水産試験場研究報告 (7): 23-28.
- 190) 長野県植物誌編纂委員会. 1997. 長野県植物誌. 1735 pp. 信濃毎日新聞社, 長野.
- 191) 中坊徹次 (編). 1993. 日本産魚類検索. xxxiv+1474 pp. 東海大学出版会, 東京.
- 192) 中坊徹次(編). 2000. 日本産魚類検索—全種の同定 第二版 (I, II). 1818 pp. 東海大学出版会, 東京.
- 193) 中原和郎・黒沢良彦. 1964. 原色圖鑑 世界の蝶. p.32, 株式会社 北隆館, 東京.
- 194) 中井克樹・松田征也. 2000. 日本における淡水貝類の外來種—問題点と現状把握の必要性—. 月刊海洋, 号外 (20): 57-65.
- 195) 中根猛彦. 1989. 移入種と思われるアトキリゴミムシの記録. 昆虫と自然 24(8): 33.
- 196) 直海俊一郎・米山勇一 (2009) 千葉県流山市から発見された *Trachymela slaonei* Blackburn (甲虫目: ハムシ科) について. 房総の昆虫 (41):10.
- 197) 成田市, 2005. 昆虫類. In: 動植物生息調査総合解析報告書: 122-144. 成田市.
- 198) 成毛光之. 1985. 貝のなかま. In: 「房総の生物」編集委員会 (編), 房総の生物, pp. 194-203. 河出書房新社, 東京.
- 199) 根本隆夫・杉浦仁治・古丸明. 2003. 利根川・霞ヶ浦北浦における外來シジミの分布について. 茨城県内水面水産試験場調査研究報告 (38): 32-41.
- 200) 日本環境動物昆虫学会, 2009. テントウムシの調べ方, 148pp. 文教出版, 東京.
- 201) 日本家屋害虫学会, 1984. 家屋害虫. 325pp.
- 202) 日本生態学会 (編), 村上興正・鷲谷いずみ (監修). 2002. 外來種ハンドブック. xvi+390 pp. 地人書館, 東京.
- 203) 新島偉行・田中正彦. 2000. 水生無脊椎動物. In: 佐倉市自然環境調査団 (編), 佐倉市自然環境調査報告書, pp. 347-370. 佐倉市経済環境部環境保全課, 千葉.
- 204) 新島偉行・田中正彦. 2004. 市川市の魚類・甲殻類・貝類調査報告書Ⅲ. In: 市川市自然環境実態調査報告書 2003, pp. 403-460. 市川市・市川自然環境調査会, 千葉.
- 205) 西川勝, 2007. スジハサミムシモドキの生態情報 (1) ~ケアンズからのメール~. ぱったりぎす, (140): 54-56
- 206) 西村和久. 2005. 東京湾奥アサリ漁場に生息するホンビノスガイ (移入種) について. ちりぼたん 36(3): 63-66.
- 207) 農林水産技術会議事務局・水産庁沿岸沖合課・水産総合研究センター中央水産研究所. 2003. 外來魚コクチバスの生態学的研究及び繁殖抑制技術の開発. 47 pp. 農林水産技術会議事務局・水産庁沿岸沖合課・水産総合研究センター中央水産研究所発行機関, 東京.
- 208) 農林水産部担い手支援課専門普及指導室. <http://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/network/field-h22/kaki1004.html> (2012/2/23 確認).
- 209) 布村昇. 2004a. 育てて、しらべる日本の生き物ずかん (4) ダンゴムシ. 39 pp. 集英社, 東京.

- 210) 布村昇 . 2004b. 千葉県産等脚目甲殻類 . 富山市科学文化センター研究報告 27: 15-25.
- 211) 布村昇 . 1999. フラジムシ目 (等脚目) . In: 日本産土壌動物分類のための図解検索 , pp 569-625. 東海大学出版会 , 東京 .
- 212) 入村信博・細川隆 . 1993. 千葉県産ジャンボタニシの 2 型の形態的、電気泳動的比較 . ちりぼたん 24(1): 6-8.
- 213) 大場達之・木村陽子 . 2002. 船橋市の植物 . In: 船橋市内環境調査報告書 (本編) , pp. 212-342. 船橋市環境部環境保全課 .
- 214) 大場達之・村田威夫 . 2000. 佐倉市植物目録 . In: 佐倉市自然環境調査報告書 , pp. 23-67. 佐倉市経済環境部環境保全課 .
- 215) 大林延夫・佐藤正孝・児島圭三 . 1992. 日本産カミキリムシ検索図説 . 696pp. , 東海大学出版会 , 東京 .
- 216) 落合啓二 . 1998. 千葉県におけるハクビシンの分布と移入経路 . 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 5: 51-54.
- 217) 落合啓二・浅田正彦 . 2002. ハクビシンの千葉市への移入 . 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 7: 17-19.
- 218) 落合啓二・石井睦弘・布留川毅 . 2002. 千葉県におけるアライグマの移入・定着 . 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 7: 21-27.
- 219) 小田切敬子・小田切則夫・麻布大学動物研究会 . 1989. 市川市妙典に生息する帰化動物マスカラットの生態調査 . 平岡環境科学研究所報告 2: 119-129.
- 220) 小賀野大一・福土融・木村孝康 . 2005. 印旛沼水系に侵入したヌマガエルの分布範囲と生息状況 . 千葉生物誌 55(1): 1-8.
- 221) 緒方大地・飯田茜・中島美貴・山崎愛柚香・園原哲司・多々良有紀・芳賀拓真 . 2010. 外来水棲腹足類コモチカワツボ (新生腹足類: リソツボ上科) における日本初の雄性個体の発見ならびに新産地 . *Molluscan Diversity* 2(2): 60-68.
- 222) 岡国夫 . 1972. 山口県植物誌 . 607 pp. 山口県植物誌刊行会 , 山口 .
- 223) 岡本正豊 . 1976. 今度は縞のあるモノアラガイ . ちりぼたん 9(1): 9-10.
- 224) 岡本正豊 . 1992. 房州のコハクオナジマイマイ . ちりぼたん 23(1): 13-18.
- 225) 岡本正豊 . 1993. 千葉県産貝類 (納付標本リスト) . In: 平成 4 年度標本資料収集動物・植物標本目録 , pp. 5-12. 千葉県自然資料調査会 , 千葉 .
- 226) 岡本正豊 . 2002. 自宅庭に放した陸貝、とくにキュウシュウナミコギセルの繁殖について . ひたちおび (81/82): 17-23.
- 227) 岡本正豊・黒住耐二 . 1996. 千葉市の貝類 .1. 一人工海浜の貝類一 . In: 千葉自然環境調査会 (編) , 千葉市野生動植物生息状況及び生態系調査報告書 , pp. 581-622. 千葉市環境衛生部 , 千葉 .
- 228) 岡俊彦 . 2006. 日本産蝶類標準図鑑 . 336pp. , 学習研究社 , 東京 .
- 229) 大川秀雄 . 2006. スジハサミムシモドキの渡良瀬遊水地附近からの記録 . 月刊むし (419) : 45-46.
- 230) 岡山大学資源生物科学研究所野生植物学研究室ホームページ日本の帰化植物一覧表 . ([http://www.rib.okayama-u.ac.jp/wild/kika\\_table.htm](http://www.rib.okayama-u.ac.jp/wild/kika_table.htm))

- 231) 大越健嗣 . 2003. サキグロタマツメタの生活史とアサリ資源への影響 . 日本ベントス学会誌 58: 98-99.
- 232) 大久保一治 . 1999. 増補改訂岡山県植物目録 .
- 233) 奥田重俊・柴田敏隆・島谷幸宏・水野信彦・矢島稔・山岸哲 (監修). 1996. 川の生物図典 . 663 pp. 山海堂 , 東京 .
- 234) 大野正男 . 1986. アオマツムシの分布調査に寄せて . インセクタリウム (23): 304-305.
- 235) 大野啓一 . 2009. 北総にアマゾンチカガミが帰化 . 千葉県植物誌資料 25:238-241.
- 236) 折目庸雄 . 1997. 芝山の植物 (千葉県山武郡芝山町植物誌) . 千葉県植物誌資料特集 1. 60 pp. 千葉県植物誌資料編集同人 .
- 237) 折目庸雄 . 2007. 増補改訂富里の植物 (千葉県富里市植物誌) . 千葉県植物誌資料特集 4. 126 pp. ふるさと房総の植物を記録する会 .
- 238) 長田武正 . 1972. 日本帰化植物図鑑 . 294 pp. 北隆館 .
- 239) 長田武正 . 1976. 原色日本帰化植物図鑑 . 425 pp. 保育社 .
- 240) 長田武正 . 1993. 増補日本イネ科植物図譜 . 777 pp. 平凡社 .
- 241) 太田久次 . 1997. 改訂三重県帰化植物誌 .
- 242) 大滝末男・石戸忠 . 1980. 日本水生植物図鑑 . 318 pp. 北隆館 .
- 243) 大塚保 . 2008. 大阪市立自然史博物館叢書 (4)「鳴く虫セレクション」音に聴く虫の世界 . p.331, 東海大学出版会 , 東京 .
- 244) 尾崎煙雄 . 2011. 千葉県初記録のキョウチクトウスズメ . 千葉生物誌 61:29.
- 245) 尾崎真澄 . 1996a. 印旛沼における張網漁獲物組成の変遷 . 千葉県水産総合研究センター内水面水産試験場研究報告 (6): 15-27.
- 246) 尾崎真澄 . 1996b. 与田浦の魚類・甲殻類目録 . 千葉県水産総合研究センター内水面水産試験場研究報告 (6): 35-40.
- 247) 尾崎真澄 . 2003. 利根川下流部におけるチャンネルキャットフィッシュの生活史に関する研究 . 2003 年度日本魚類学会講演要旨集 , p. 21.
- 248) 尾崎真澄 . 2004. 利根川下流部におけるアメリカナマズの生態および在来魚への影響 . In: 平成 15 年度移入種管理方策検討委託事業報告書 , pp. 21-24.
- 249) 尾崎真澄・宮部多寿 . 2007. 利根川下流域におけるチャンネルキャットフィッシュの漁獲実態 . 千葉県水産総合研究センター研究報告 (2): 33-41.
- 250) 尾崎俊文 . 2011. 千葉市中央区におけるアカアシクワガタの採集例 . 房総の昆虫 (48):49.
- 251) クリストファー・M・ペリンズ (監修) 山岸哲 (日本語版監修) . 1996. 世界鳥類辞典 . 92 pp. 同朋舎出版 .
- 252) レポート日本の植物 5-7,9-13,15,20,23,25,30-35,37,38,40.
- 253) リバーフロント整備センター (編) . 奥田重俊・柴田敏隆・島谷幸宏・水野信彦・矢島稔・山岸哲 (監修) . 1996. 川の生物 . 674 pp. 山海堂 , 東京 .
- 254) Grimmett, R. and Inskipp, T. 2003. Birds of Northern India . p.304, Christopher Helm Publishers, ロンドン .
- 255) 採集と飼育 11,51.

- 256) 斉藤明子・上山雅規・小川洋. 2010. 千葉県初記録のマツヘリカメムシ. 房総の昆虫 (45):30.
- 257) 斉藤明子・尾崎煙雄・盛口満. 2009. 千葉県におけるクロマダラソテツシジミの初記録と発生初期の生息域. 月刊むし (465): 28-32.
- 258) 斉藤明子・依田琳太郎. 2007. 千葉市で見つかった熱帯種ヘレナキシタアゲハ. 房総の昆虫 (39):122.
- 259) 斎藤正寛. 1989. 日本に於けるマスクラットの野生化の経緯と俗名の考察. 平岡環境科学研究所報告 2: 179-183.
- 260) Saito, K. 1975. A monograph of Japanese Pottiaceae (Musci). J. Hattori Bot. Lab. 39: 373-537.
- 261) 斉藤明子. 2004. 千葉県大多喜町でパラワンヒラタクワガタが発見される. 房総の昆虫 (33): 64.
- 262) 斉藤明子. 2005. 千葉県山田町でアトラスオオカブトが発見される. 房総の昆虫 (35) : 20 - 21.
- 263) 斉藤吉永. 1970. 千葉県柏市帰化植物目録. 38pp. 自刊.
- 264) 斉藤吉永. 1970. 千葉県採集メモ. 千葉生物誌 (52):25-27.
- 265) 斉藤吉永. 1990. スズメナギナタの帰化. 千葉生物誌 39(2):60-61.
- 266) 斉藤吉永. 1991. 生物観察記: スズメノナギナタの帰化. 千葉生物誌 40(2):41.
- 267) 斉藤吉永. 1977. 千葉県下の帰化植物の近況. 植物採集ニュース (90):66-67.
- 268) 斉藤吉永. 1986. 最近見た北総の帰化植物. 千葉生物誌 36(1):35.
- 269) 斉藤吉永. 1987. 海岸埋立地のフロラ. In (沼田真編) 都市化・工業化が湾岸生態系に及ぼす影響調査 I. ,pp.75-97. 千葉県環境部環境調整課.
- 270) 斉藤吉永. 1988. 海岸埋立地のフロラ. In (沼田真編) 都市化・工業化が湾岸生態系に及ぼす影響調査 II. ,pp.125-175. 千葉県環境部環境調整課.
- 271) 酒井敬一. 2000. 万石浦アサリ漁場におけるサキグロタマツメタガイの食害について. 宮城県水産研究開発センター研究報告 (16): 109-111.
- 272) 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫. 1981-1982. 日本の野生植物 草本 1 - 3. 平凡社.
- 273) 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫. 1989. 日本の野生植物 木本 1-2. 平凡社.
- 274) 佐藤仁彦 (編). 2003. 生活害虫の事典. 139pp. 朝倉書店, 東京.
- 275) 植物研究雑誌 6,10,11,13-21,23,25,26,28-31,34-50,54-57,60-66,70,71,73-77.
- 276) 植物分類・地理 8,9,14-16,19,20,22-33,35,37,39,40,42,43,46,47,49,51.
- 277) 植物地理分類研究 30,35,36,38,40,42,47.
- 278) 植物採集ニュース 30,38,40,42-48,50,53,56,57,59,60,64-66,68,71-75,77-80,83-86,89-91,95,96,98,99.
- 279) 駿遠植物調査資料 1,3,6,8,10.
- 280) 信太利智. 2000. 佐倉市でセイヨウオオマルハナバチを採集したこと. 房総の昆虫 (24): 27.
- 281) 信太利智. 2003. ヨコヅナサシガメ佐倉に発生. 房総の昆虫 (31): 18-19.
- 282) 嶋本習介. 2009. 千葉市美浜区の「幕張の浜」で *Trachymela slaonei* Blackburn の死骸を発見. 房総の昆虫 (43):35.

- 283) 嶋本習介 . 2009. 千葉県初記録のフイリカツオブシムシの採集記録. 房総の昆虫 (43) : 36
- 284) 嶋本習介 . 2009. 東京湾の埋め立て地 (千葉県美浜区) の昆虫 . 房総の昆虫 (42):1-12.
- 285) 清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 . 2001. 日本帰化植物写真図鑑 . 554pp. 全国農村教育協会 .
- 286) 清水建美 . 2003. 日本の帰化植物 . 337 pp. 平凡社 .
- 287) 清水敏夫 . 2004. 印西市でギラファノコギリクワガタを採集 . 房総の昆虫 (33): 64.
- 288) 品川和久 . 1978. 淀川河口のカワヒバリガイについて . いそこじき (34) :14.
- 289) 品川和久 . 1981. ハブタエモノアラガイ (和名新称) について . かいなかま 15(3): 13-14.
- 290) 新浜倶楽部 . 1988. 新浜の鳥 -1966 年 ~1968 年の記録 -. 257 pp. 新浜倶楽部 , 武蔵野市 .
- 291) 自然環境研究センター (編) . 2008. 日本の外來生物 . p.479, 平凡社 , 東京 .
- 292) 自然誌研究雑誌 5.
- 293) 静岡生物 3.
- 294) 染谷淳・清水喜一 . 1997. 千葉県におけるオオタバコガの発生生態と薬剤感受性 . 関東東山病虫研究会年報 . (44): 241-248.
- 295) 染谷淳・清水喜一 . 1998. 千葉県におけるオオタバコガ越冬の可能性 . 関東東山病虫研究会年報 (45): 207 - 210.
- 296) 須田博久 . 1999. 野生のセイヨウオオマルハナバチが千葉・東京で . 千葉生物誌 49(2): 96.
- 297) 須山知香 . 2001. 日本新帰化植物ミズヒマワリ *Gymnocoronis spilanthoides* DC. 植物地理・分類研究 49(2).183-184
- 298) 須賀はる子・中村俊彦・古木達郎 1996. 千葉市のコケ植物 . In: 千葉市自然環境調査団 (編), 千葉市野生動植物の生息状況及び生態系調査報告書 , pp. 343-364. 千葉市環境衛生局環境部 , 千葉 .
- 299) すげの会会報 2,5,6.
- 300) 杉本順一 . 1972. 新日本新樹木総検索誌 . 井上書店 .
- 301) 杉本順一 . 1982. 日本草本植物総検索誌Ⅱ 単子葉編 . 630 pp. 井上書店 .
- 302) 杉本順一 . 1983. 改訂増補日本草本植物総検索誌Ⅰ 双子葉編 . 871 pp. 井上書店 .
- 303) 杉谷彦彦 . 1968. ミドリイガイの生棲について . かいなかま 2(3): 27-29.
- 304) 水産部園芸農産課 . 2005.
- 305) 鈴木勝 . 2010. 1977 年 ~ 1986 年に西印旛沼周辺地域で採集した甲虫類 ( その 1). 房総の昆虫 (45):1-4.
- 306) Suzuki, D., H. Ota, T. Hikida. 2011. Origin of Japanese population of Reeves' pond turtle, *Mauremys reevesii* (Reptilia: Geoemydidae), as inferred by a molecular approach. *Chelonian Conservation and Biology* 10:237-249.
- 307) 鈴木欣司 . 2005. 日本外來哺乳類フィールド図鑑 . 271 pp. 旺文社 , 東京 .
- 308) 鈴木武 2010. 特定外來生物アメリカオオアカウキクサを含む外來アゾラの現状 . In 外來生物の生態学 . pp.181-194. 文一総合出版 , 東京 .
- 309) 鈴木武 2007. 千葉県のオオアカウキクサ類について . In: 平成 19 年度佐倉市植物調査業務 ( 畔田沢流域 春・夏) 報告書 . pp. 19-24. 佐倉市環境政策課 .
- 310) 鈴木武 . 2007. 千葉県のオオアカウキクサ類について . 坂月川だより (坂月川愛好会) (16):4-5.

- 311) 太刀掛優. 1998. 帰化植物便覧. 比婆科学教育振興会.
- 312) 太刀掛優・中村慎吾. 2007. 改訂増補帰化植物便覧. 684 pp. 比婆科学教育振興会.
- 313) 田悟敏弘. 2006. 2005年に埼玉県・千葉県で記録した気化昆虫(アワダチソウグンバイ・ミスジキイロテントウ). 寄せ蛾記(119):38-39.
- 314) 田悟敏弘. 2011. 埼玉県三郷市でのスジハサミムシモドキの記録. 寄せ蛾記(143):19-20.
- 315) Takehashi, S. and T. Kasuya. 2009. *Pluteus magnus* and *Pluteus podospileus* f. *podospileus*, two agaric species new to Japan. *Mycoscience* 50: 74-77.
- 316) 高橋四郎. 1964. 原色日本野菜図鑑. 保育社.
- 317) 高橋秀男・勝山輝男・田中徳久. 2003. 横浜の植物. 1325 pp. 横浜植物会.
- 318) 武田・清水・大嵩. 2012. 千葉県におけるケブカトラカミキリ *Hirticlytus comosus* (Matsushita) (コクチュウ目:カミキリムシ科) のイヌマキからの脱出消長と脱出開始時期の推定. 応用動物昆虫学会誌 56(2):68-71.
- 319) 竹松哲夫・一前宣正. 1987～1997. 世界の雑草 I 合弁花類・II 離弁花類・III 単子葉類. 全国農村教育協会.
- 320) 嶽本弘之. 1993. レンゲの播種時期とアルファルファタコゾウムシ. 今月の農業(37):99-102.
- 321) 滝田謙讓. 2001. 北海道植物図譜. 1452. 自刊.
- 322) 滝沢春雄・斉藤明子・佐藤光一・平野幸彦・大野正男. 1999. 侵入昆虫ブタクサハムシー関東地方での分布拡大と生活史ー. 月刊むし(338):26-31.
- 323) 田中敏博. 2007. 千葉県にてクロメンガタスズメを採集. 房総の昆虫(39):36.
- 324) 田中正彦・新島偉行. 2000. 魚類. In: 佐倉市自然環境調査団(編), 佐倉市自然環境調査報告書, pp. 221-238. 佐倉市経済環境部環境保全課, 千葉.
- 325) 多留聖典. 2010. 関東地方で初めて確認されたウスイロオカチグサ(新生腹足上目:カワザンショウ科)の野外個体群. *Molluscan diversity* 2(1):7-10.
- 326) 多和田真淳・石原直樹. 1979. 沖縄植物野外活用図鑑Ⅲ 帰化植物. 新星図書, 沖縄.
- 327) Thomas B. Allen, W. Barret, S. L. Fishbein, P. Kopper, E. Lanouette, D. F. Robinson, R. D. Selim Jonathan and B. Tourtellot. 1983. *Birds of North America*. p.464, National Geographic Society, ワシントン.
- 328) Toft, D. J., J. R. Cordell and W. C. Fields. 2002. New records of Crustaceans (Amphipoda, Isopoda) in the Sacramento/San Joaquin Delta, California, and application of criteria for introduced species. *J. Crustacean Biology* 22: 190-200.
- 329) 東京新聞, 2001年5月2日付け, 特報ちば.
- 330) 富山市科学文化センター報告 20.
- 331) 塚本洋太郎 1977～1978. 原色日本園芸植物図鑑Ⅰ～Ⅴ. 保育社.
- 332) 塚本洋太郎 1994. 園芸植物大事典Ⅰ～Ⅵ 小学館.
- 333) 築地 琢郎. 2011. フィールドで役立つ1103種の生態写真 昆虫観察図鑑. 255p., 誠文堂新光社, 東京.
- 334) 内野憲. 2001. 複合交信かく乱剤の特徴とニホンナシ園における上手な利用法. 平成12年度試

- 験研究成果発表会資料(果樹), pp. 1-6. 千葉県・千葉県農林技術会議, 千葉.
- 335) 宇田川竜男. 1974. ネズミの話 よみもの動物記. 229 pp. 北隆館, 東京.
- 336) 上原敬二. 1959 ~ 1961. 樹木大図説. 有明書房.
- 337) 上宮健吉・笠井敦. 2011. チャを加害する新害虫「チャトゲコナジラミ」. 植物防疫 (65): 521-524.
- 338) 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝(編著). 1985. 原色日本甲虫図鑑 I . viii+514 pp. 保育社, 大阪府.
- 339) 上島勲・長谷川和範・齋藤寛. 2000. 皇居の陸産および淡水産貝類. 国立科学博物館専報 (35): 197-210.
- 340) 上島勲・岡本正豊・斉藤洋一. 2004. 新たな移入種, イスパニアマイマイ *Eobania vermiculata*. ちりぼたん 35(3): 71-73.
- 341) 梅谷献二・岡田利承(編). 2003. 日本農業害虫大事典. 1203 pp. 全国農村教育協会, 東京.
- 342) 浦安市役所. <http://www.city.urayasu.chiba.jp/menu3742.html> (2012/2/23 確認).
- 343) 和田恵次・西平守孝・風呂田利夫・野島哲・山西良平・西川輝昭・五嶋聖治・鈴木孝男・加藤真・島村賢正・福田宏. 1996. 日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状. WWF Japan Science Report 3: 1-182.
- 344) 鷺谷いづみ・森本信生. 1993. 日本の帰化生物. 191 pp. 保育社.
- 345) 鷺谷いづみ・鈴木和雄・加藤真・小野正人. 1997. マルハナバチ・ハンドブック. 49 pp. 文一総合出版, 東京.
- 346) Watabe, H., E. Momma and M. T. Kimura. 1980. Changes in drosophilid fauna at the University Botanical Garden in Sapporo, Japan. *Drosophila Information Service* (55): 141-142.
- 347) 矢部辰男. 1988. 昔のねずみと今のねずみ. 175 pp. どうぶつ社, 東京.
- 348) 矢部隆. 2002. 爬虫綱 Reptilia;1) カメ目 Testudines.p.723-727. 千葉県史料研究財団(編) 千葉県の自然誌 (6). 千葉県, 千葉.
- 349) 山口裕文. 1997. 雑草の自然史 [たくましさの生態学]. 294pp. 北海道大学図書刊行会.
- 350) 山口昇・波部忠重. 1965. 日本産ナメクジ類の研究 (1). *Venus* 18(4): 234-240.
- 351) 山崎秀雄. 2002. 八千代市の昆虫, 八千代市水辺の自然環境調査報告書:259 - 292, 八千代市.
- 352) 山崎秀雄. 2004. プラタナスグンバイムシ市川市に侵入. 房総の昆虫 (33): 31-33.
- 353) 山崎秀雄. 2011. 千葉県市川市でクモガタtentouを発見. 千葉生物誌 61(2):10
- 354) 山崎秀雄・宮内博至. 2004. 市川市のコウチュウ目 (II). In: 市川市自然環境実態調査報告書 2003, pp. 751-854. 市川市・市川市自然環境調査会, 千葉.
- 355) 山崎秀雄・宮内博至. 2009. 白井市のコウチュウ目. 白井市生物多様性調査報告書: 391-448. 白井市.
- 356) 柳研介・浅田正彦・北澤哲弥. 2011. 千葉県における野生生物の現状. 千葉県生物多様性センター研究報告. (4):53-69.
- 357) 野草 2,4-8,10,11,14,17,18,20,22-30,41,43
- 358) 安川雄一郎. 1995. ミナミイシガメ・日本の稀少な野生水生生物に関する基礎資料 (II) : 443-448. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 359) 安川. 2005. 今後日本国内に定着する可能性の高い淡水性カメ類について. 爬虫両棲類学会報

2005 (2)

- 360) 安松京三・朝比奈正二郎・石原保. 1965. 原色昆虫大圖鑑Ⅲ. 76+358 pp. 北隆館, 東京.
- 361) 安永智秀・高井幹夫・山下泉・川村満・川澤哲夫. 1993. 日本原色カメムシ図鑑. 380p., 全国農村教育協会, 東京.
- 362) 横田隆夫. 2004. 佐倉市, 市川市でミナミトゲヘリカメムシを確認. 房総の昆虫 (33):18.
- 363) 米田洋斗. 2003. 東京葛飾区のアチ I. 房総の昆虫 (30): 10-12.
- 364) 吉井正 (監修). 2005. 世界鳥名辞典. 137pp. 株式会社三省堂
- 365) 吉川代之助. 1968. 「千葉県植物目録」に帰化植物 11 種を追加. 植物採集ニュース (40):32.
- 366) 吉川代之助. 1969. 千葉県船橋市に現れた帰化植物 3 種. 植物採集ニュース (45):66-67.
- 367) 吉川代之助. 1971. 千葉県船橋市に現れた帰化植物 4 種. 植物採集ニュース (53):58.
- 368) 吉川代之助. 1974. 千葉県の帰化植物 6 種. 植物採集ニュース (71):4-5.
- 369) 吉松慎一・宮本泰行・広渡俊哉・安田耕司. 2004. クロテンオオメンコガ (新称) (*Opogona sacchari* (Bojer)) の日本における発生状況. 日本応用動物昆虫学会誌 (48): 135-139.
- 370) 吉野俊之. 2000. 日本の鳥 550 水辺の鳥. p.351, (株) 文一総合出版, 東京.
- 371) 財団法人 日本鳥類保護連盟. 1988. A GUIDE FOR BIRD LOVERS 鳥 630 図鑑. 394p., 日新印刷株式会社, 日本.
- 372) 全国森林病虫獣害防除協会 (編). 1997. 松くい虫 (マツノザイセンチュウ) 沿革と最近の研究. 274 pp. 全国森林病虫獣害防除協会, 東京.

## 9 索引

### ア

アイオオアカウキクサ	42	アコウゲンバイ	78
アイセイタカハハコグサ	166	アサ	48
アイノコアカミタンポポ	176	アサガオ	128
アイノコセイヨウタンポポ	177	アサツキ	179
アイフウリンホオズキ	139	アサリ	242
アオイゴケ	126	アズキガイ	231
アオイツナソ	109	アズキマメゾウムシ	269
アオウオ	278	アスナロ	43
アオギリ	112	アツバキミガヨラン	183
アオゲイトウ	65	アツミゲシ	74
アオスズメノカタビラ	214	アトグロホソアリモドキ	267
アオボウシインコ	292	アトラスオオカブト	259
アオマツムシ	247	アヒル	287
アオモジ	68	アブラギリ	104
アカアシクワガタ	258	アブラナ	77
アカアシホシカムシ	263	アフリカタヌキマメ	91
アカウキクサゾウムシ	271	アフリカツメガエル	285
アカエリホウオウ	296	アフリカナガバモウセンゴケ	72
アカオクロオウム	291	アフリカヒゲシバ	198
アカクビホシカムシ	262	アフリカフウチョウソウ	75
アカゲザル	298	アベマキ	46
アカザカズラ	56	アマ	101
アカバナセイヨウノコギリソウ	153	アマゾンチカガミ	179
アカバナリハコベ	121	アマナズナ	77
アカヒレタビラ	276	アメリカアサガオ	127
アカボシゴマダラ名義タイプ亜種	257	アメリカアゼナ	146
アカボシツリフネ	108	アメリカアリタソウ	61
アカマダラカツオブシムシ	260	アメリカイヌホオズキ	142
アカミタンポポ	176	アメリカオオアカウキクサ	42
アカミノイヌホオズキ	143	アメリカオニアザミ	161
アキニレ	47	アメリカキカシグサ	115
アキマルニワゼキショウ	188	アメリカキササゲ	149
アケビガキ	67	アメリカキンゴジカ	112
		アメリカザリガニ	246
		アメリカジガバチ	273

アメリカシロヒトリ	256	アレチムラサキ	130
アメリカスズカケノキ	84	アワダチソウゲンバイ	247
アメリカスズメノヒエ	210	アワモリハッカ	137
アメリカスミレサイシン	113		
アメリカセンダングサ	157	イ	
アメリカタカサブロウ	164	イガイダマシ	240
アメリカツノクサネム	95	イガオナモミ	177
アメリカナマズ	281	イガホビユ	65
アメリカネナシカズラ	126	イガヤグルマギク	160
アメリカハッカ	135	イクシア	187
アメリカハマニンニク	193	イケノミズハコベ	133
アメリカハリフタバ	125	イスノキ	85
アメリカビユ	61	イスパニアマイマイ	238
アメリカフウロ	100	イセリアカイガラムシ	251
アメリカフジツボ	244	イソギク	161
アメリカホドイモ	90	イタチハギ	90
アメリカミズアブ	274	イチジク	47
アメリカミズユキノシタ	116	イチジクモンサビダニ	243
アメリカヤガミスゲ	222	イチビ	109
アライグマ	299	イチモンジタナゴ	275
アライトツメクサ	57	イチョウ	43
アラゲハンゴンソウ	172	イッカククモガニ	246
アラゲムラサキ	129	イトコヌカグサ	192
アラビアコガネスズメ	296	イトラン	184
アリタソウ	61	イヌ	299
アルファルファタコゾウムシ	270	イヌエノコロ	217
アレチウリ	114	イヌカキネガラシ	84
アレチエゾノギンギシ	52	イヌカタヒバ	41
アレチカミツレ	154	イヌカミツレ	171
アレチギンギシ	52	イヌケホシダ	41
アレチクサヨシ	212	イヌゴシュユ	105
アレチナガバギンギシ	53	イヌコハコベ	60
アレチナズナ	75	イヌコモチナデシコ	57
アレチニシキソウ	102	イヌシバ	218
アレチヌスビトハギ	91	イヌハッカ	136
アレチノギク	162	イヌヒメコズチ	137
アレチノチャヒキ	197	イヌムギ	198
アレチハナガサ	132		

イヌムラサキ	130	ウネナシトマヤガイ	240
イヌメヒシバ	201	ウマゴヤシ	93
イネミズゾウムシ	271	ウマノチャヒキ	197
イノシシ	300	ウメノハナガイモドキ	239
イブキノエンドウ	97	ウラジロアカザ	62
イベリアヌカボ	192	ウラジロチチコグサ	167
イボウキクサ	221	ウラジロハコヤナギ	44
イボミキンポウゲ	69	ウルシ	107
イモカタバミ	98	ウロコナズナ	80
イモネノホシアサガオ	128	ウロコハタケゴケ	228
イラガセイボウ	273	ウンシュウミカン	105
イワカラクサ	144	ウンリュウヤナギ	45
イワムシロ	86		
イワヨモギ	155	<b>エ</b>	
インドガン	288	エゴマ	136
インドハマユウ	184	エジプトガン	287
インドヒラマキガイ	234	エゾスズシロ	80
<b>ウ</b>		エゾヌカボ	191
		エゾノギシギシ	52
ウイキョウ	120	エゾノキツネアザミ	158
ウサギアオイ	111	エノコログサ	217
ウサギノオ	206	エンドウゾウムシ	268
ウシオハナツメクサ	60	エンドウマメゾウムシ	268
ウシガエル	285	<b>オ</b>	
ウシノケグサ	204	オウゴンチョウ	296
ウスイロオカチグサ	232	オオアカウキクサ	42
ウスカラシオツガイ	242	オオアザミ	174
ウスゲホオズキ	140	オオアブラギリ	104
ウスシジミ	240	オオアマナ	183
ウスバイシバイイワノリ	229	オオアラセイトウ	82
ウスバキスイ	265	オオアレチノギク	162
ウスベニチチコグサ	167	オオアワガエリ	212
ウスベニツメクサ	60	オオアワダチソウ	174
ウスユキバト	291	オオイヌノフグリ	148
ウチダザリガニ	246	オオイヌホオズキ	142
ウチワサボテン	66	オオウシノケグサ	204
ウチワゼニクサ	120		

オオエノコロ	218	オオフラミンゴ	287
オオオナモミ	177	オオベニタデ	50
オオカナダモ	178	オオヘビイチゴ	88
オオカナメモチ	87	オオホウキギク	156
オオカニツリ	194	オオホナガアオゲイトウ	65
オオカラスノエンドウ	97	オオマツヨイグサ	116
オオカワヂシャ	147	オオミツバタヌキマメ	91
オオキバナカタバミ	99	オオムギクサ	206
オオキンケイギク	162	オオムラサキ	121
オオクサキビ	209	オオムラサキツユクサ	190
オオクチバス	284	オオモンツキガヤ	195
オオクビキレガイ	236	オガサワラコミカンソウ	103
オオグルマ	170	オガサワラスズメノヒエ	210
オオケタデ	50	オカタイトゴメ	86
オオシラタマソウ	58	オカダンゴムシ	244
オオスズメノカタビラ	215	オカメインコ	292
オオスズメノテッポウ	193	オカメザサ	218
オオセンナリ	139	オキジムシロ	88
オオタコゾウムシ	270	オキナアサガオ	129
オオタナゴ	275	オクヤマザサ	216
オオタバコガ	256	オグロプレーリードッグ	298
オオトキワツユクサ	190	オシロイバナ	54
オートムギ	194	オッタチカタバミ	99
オオナガシンクイ	260	オトメイヌゴマ	137
オオナギナタガヤ	219	オトメフウロ	100
オオニシキソウ	102	オナジショウジョウバエ	275
オオニワゼキショウ	187	オナジマイマイ	238
オオハキダメギク	164	オニウシノケグサ	204
オオハタガヤ	222	オニクサヨシ	211
オオバナイトタヌキモ	150	オニクロイチゴ	89
オオバノキハダ	105	オニゲシ	74
オオバベニガシワ	101	オニナベナ	151
オオハマガヤ	193	オニノゲシ	175
オオハルタデ	52	オニハマダイコン	77
オオハンゴンソウ	172	オニユリ	182
オオフサモ	118	オノマンネングサ	85
オオブタクサ	154	オハツキガラシ	79
オオフタバムグラ	124	オヒゲシバ	199

オビワラジムシ	245	ガビチョウ	293
オランダアヤメ	186	カベイラクサ	48
オランダカイウ	221	カミツキガメ	286
オランダガラシ	81	カミツレ	171
オランダキジカクシ	180	カミツレモドキ	155
オランダゼリ	120	カミヤツデ	118
オランダハッカ	135	カムルチー	284
オランダフウロ	99	カモガヤ	200
オランダミツバ	119	カラカラ	289
オランダミミナグサ	56	カラクサケマン	74
オリヅルラン	181	カラクサナズナ	79
オンシツコナジラミ	251	カラシナ	76
オンシツツヤコバチ	272	カラタチ	106
<b>カ</b>		カラドジョウ	280
		カラフトハナビゼキショウ	188
カイウサギ	298	カラムシ	48
ガイマイゴミムシダマシ	266	カロリナアオイゴケ	126
カエデチョウ	294	カロリナポプラ	44
カオジロガビチョウ	293	カワアイ	231
カキクダアザミウマ	252	カワシンジュガイ	239
カキノキ	121	カワヂシャ	149
カクトラノオ	136	カワニナ属の一種	231
カザンデマリ	89	カワヒガイ	279
カジノキ	47	カワヒバリガイ	238
カシノシマメイガ	255	カワムツ	278
カスミソウ	57	カワラバト	291
カゼトゲタナゴ	279	カワリヌマエビ属の一種	245
カダヤシ	282	カワリバマキエハギ	91
カッコウアザミ	154	カンザシイヌホオズキ	141
カドマルカツオブシムシ	260	カンザンチク	214
カナメモチ	87	カンチク	198
カナリア	294	カンムリヅル	290
カナリーキヅタ	118	<b>キ</b>	
カナリークサヨシ	212	キイロシヨウジョウバエ	274
カネツケシジミ	240	キイロナメクジ	236
カネヒラ	276	ギギ	281
カバイロヒョウホンムシ	262		

キキョウソウ	152	ギラファノコギリクワガタ	258
キク	161	キリ	146
キクイモ	169	キレハイヌガラシ	82
キクタニギク	160	ギンギツネ	211
キクニガナ	161	キンギンナスビ	141
キクノハアオイ	111	キンギンボク	151
キクバオウレン	68	キンケイギク	162
キササゲ	149	キンゴジカ	112
キシユウスズメノヒエ	210	ギンザケ	281
キシヨウブ	187	キンシバイ	72
キダチアロエ	180	キンセンカ	159
キダチコマツナギ (仮称)	92	ギンセンカ	110
キダチコンギク	156	キンバイタウコギ	157
キチョウジ	138	キンバラ	294
キヌヤナギ	45	ギンバラ	295
キノカワハゴロモ	249	キンモクセイ	122
キバナオドリコソウ	133	ギンモクセイ	122
キバナコスモス	163	キンランチョウ	296
キバナスズシロ	79		
キバナタカサブロウ	167	ク	
キバナニワゼキショウ	188	クサガメ	286
キバナノコギリソウ	152	クサトケイソウ	114
キバナノマツバニンジン	101	クシヒゲシバ	198
キバナヒメフウチョウ	75	クジラグサ	79
キバナムギナデシコ	177	クスダマツメクサ	95
キバナムラサキ	131	クスノキ	67
キハマスゲ	224	クチナシ	124
キバラガメ	286	グッピー	282
キビ	209	クマザサ	216
キボシカミキリ	268	クマネズミ	299
キマユカナリア	294	クモガタテントウ	265
キミガヨラン	184	グラジオラスアザミウマ	253
キュウシュウナミコギセル	235	グラディオルス・トリスティス	186
キョウチクトウ	123	クリイロデオキシイ	263
キョウチクトウアブラムシ	249	クリタマバチ	272
キョウチクトウスズメ	256	クリヤケシキスイ	263
ギョウトクイヌゴマ	137	クルマバザクロソウ	54
キョン	300		

クルマバヒメクダ	226	コアカザ	62
クルマバヒメハギ	107	コイ	277
クレソン	81	コイチゴツナギ	214
クロアザミ	160	コウオウソウ	175
クロイワツクツク	249	コウカンチョウ	293
クロガラシ	77	コウキクサ	221
クロゴキブリ	246	ゴウシュウアリタソウ	62
クロコヌカグサ	191	コウシュンシバ	219
クロチク	213	コウゾ	47
クロチビエンマムシ	258	コウタイ	284
クロテンオオメンコガ	253	ゴウダソウ	81
クロトンアザミウマ	252	コウマゴヤシ	93
クロマダラソテツジミ	257	コウライキジ	290
クロメンガタズメ	256	コウライシバ	220
クロヤナギ	45	コウライモロコ	280
ゲンバイナズナ	84	コウラウン	293
<b>ケ</b>		コウラナメクジ	236
ケアリタソウ	61	コウリンタンポポ	169
ケイトウ	66	コウロエンカワヒバリガイ	239
ケイヌホオズキ	143	コエンドロ	120
ケイノコヅチモドキ (仮称)	63	コカナダモ	178
ケカキネガラシ	84	コガネガヤツリ	224
ケセンナリ	140	コガネギシギシ	52
ケチビコフキゾウムシ	271	コガネスズメ	296
ケチョウセンアサガオ	138	ゴキブリヤセバチ	274
ゲッケイジュ	67	コクゾウムシ	272
ケナガハグサ	215	コクチバス	283
ケナシヒメムカシヨモギ	165	コクチョウ	288
ケナフ	109	コクヌスト	262
ケニクキビ	195	コクヌストモドキ	267
ケブカシバンムシ	261	コクレン	276
ケブカトラカミキリ	268	コケガラス	238
ゲンゲ	90	ココクゾウムシ	271
ゲンゴロウブナ	276	ココポーマアカフジツボ	244
<b>コ</b>		コゴメイ	189
		コゴメイヌノフグリ	148
		コゴメギク	166
		コゴメバオトギリ	71

コザクラインコ	292	ゴマフダマ	232
コササガヤ	211	コメツブウマゴヤシ	93
コシカギク	171	コメツブツメクサ	96
コシダカヒメモノアラガイ	233	コメノゴミムシダマシ	267
コシナガワハギ	94	コメバミソハギ	115
コシミノナズナ	80	ゴモクムシダマシ	266
コジュケイ	289	コモチカワツボ	232
ゴシュユ	105	コヤシタヌキマメ	91
コショウハッカ	135	コリヤナギ	45
コスズメガヤ	202	コリンウズラ	289
コスズメノチャヒキ	196	コルリアトキリゴミムシ	258
コスモス	163	コンテリクラマゴケ	41
コセンダングサ	157		
コタネツケバナ	78	<b>サ</b>	
コテングクワガタ	148	サカマキガイ	233
コナナガシンクイ	261	サキグロタマツメタ	232
コニクキビ	195	ザクロ	115
コニシキソウ	102	サツマイモ	126
コヌカグサ	191	サツマゴキブリ	247
コネズミガヤ	208	サトイソギク	161
コハクオナジマイマイ	237	サトイモ	220
コハクガイ	237	サビイロハタケゴケ	228
コハコベ	60	サビカクムネチビヒラタムシ	265
コバナキジムシロ	87	サフランモドキ	185
コバノスナゴケ	227	ザラツキエノコログサ	217
コバノセンダングサ	157	ザラツキコメヒシバ (仮称)	201
コバノニシキソウ	102	サルスベリ	115
コバホウライシダ	41	サワラ	42
コバレングク	172	サンゴジュ	151
コバンソウ	196	サンシキスミレ	113
コバンソウモドキ	203	サンシチソウ	168
コビトノボウシザラ	234	サンジャク	297
コヒメビエ	201	サンジャクバーベナ	132
コブハクチョウ	289		
ゴボウ	155	<b>シ</b>	
コマツナギ	92	シオザキソウ	175
コマツヨイグサ	116	シキンサイ	82
ゴマフガヤツリ	225		

シグレヤナギ	46	ジュズダマ	199
シジミ属の一種	241	シュロ	220
シジュウカラガン	288	シュロガヤツリ	223
シソ	136	シュンギク	160
シダレヤナギ	44	ショウジョウソウモドキ	103
シチトウイ	225	ショウロ	229
シナガチョウ	288	ショカツサイ	82
シナガワハギ	94	ショクヨウガヤツリ	224
シナサルナシ	70	ショクヨウホオズキ	140
シナサワグルミ	43	シラゲガヤ	205
シナダレスズメガヤ	202	シラタマソウ	59
シナダレスズメガヤモドキ(仮称)	203	シラホシヒメカツオブシムシ	259
シナハマグリ	241	シラホシムグラ	124
シバオサゾウムシ	272	シラユキゲシ	73
シバツトガ	255	シルバーリーフコナジラミ	250
シバツメクサ	57	シロイチモジヨトウ	256
シバムギ	202	シロイヌナズナ	75
シバヤマハリイ	225	シロオビカッコウムシ	263
シバンムシアリガタムシ	261	シロオビマルカツオブシムシ	259
シベナガムラサキ	130	シロガネチカラシバ	211
シホウチク	219	シロガラシ	83
シマキンバラ	295	シロタエヒマワリ	168
シマスズメノヒエ	210	シロツメクサ	97
シマミソハギ	114	シロヌメリイグチ	229
シマメノウフネガイ	232	シロバナシナガワハギ	94
シモフリゴケ	227	シロバナセンダングサ	158
シャガ	187	シロバナタンポポ	176
シャクチリソバ	49	シロバナチョウセンアサガオ	138
シャグマハギ	95	シロバナマンテマ	59
ジャコウオランダフウロ	100	シロバナモウズイカ	147
シャゼンムラサキ	129	シロヒレタビラ	276
シャリンバイ	89	シロミノカンザシイヌホオズキ	141
シュウカイドウ	114	シロヤマブキ	89
ジュウシマツ	295	シンクリノイガ	198
シュウメイギク	68	ジンサンシバンムシ	262
シュクコンアマ	101	ジンチョウゲヒゲナガアブラムシ	249
シュクコンパーベナ	132	シンテツポウユリ	182
ジュズカケバト	291		

## ス

スイセン	185
スギモリゲイトウ	64
スクミリンゴガイ	231
スゴモロコ	280
スジハサミムシモドキ	247
スジマダラメイガ	255
スズカケノキ	84
スズメガヤ	202
スズメノコビエ	211
スズメノナギナタ	209
スズラン	181
スズランスイセン	181
ストライプトバス	283
スナガイ	234
スナガイの一種	235
ズナガニゴイ	277

## セ

セイキムクドリ	297
セイケイ	291
セイコヤナギ	44
セイトカアワダチソウ	174
セイトカアワダチソウヒゲナガアブラムシ	250
セイトカクサイ	189
セイトカハハコグサ	167
セイトカハマスゲ	225
セイバンモロコシ	218
セイヨウアブラナ	76
セイヨウイラクサ	49
セイヨウウツボグサ	136
セイヨウオオバコ	150
セイヨウオオマルハナバチ	273
セイヨウオトギリ	72
セイヨウキヅタ	118
セイヨウジュウニヒトエ	133

セイヨウタンポポ	177
セイヨウチャヒキ	194
セイヨウトゲアザミ	158
セイヨウニガナ	164
セイヨウノコギリソウ	153
セイヨウノダイコン	82
セイヨウヒキヨモギ	146
セイヨウヒルガオ	126
セイヨウフウチョウソウ	75
セイヨウミツバチ	273
セイヨウミヤコグサ	92
セイヨウヤブイチゴ	90
セイヨウワサビ	76
セキセイインコ	292
ゼゼラ	276
ゼニアオイ	111
ゼニバアオイ	110
セフリアブラガヤ	226
セリバヒエンソウ	68
センダン	106
センダングサ	157
センナリホオズキ	140

## ソ

ソウギョ	277
ソウシチョウ	293
ソウジマミジンマイマイ	235
ソテツ	43
ソバ	49
ソバカズラ	49
ソメイヨシノ	87
ソラマメゾウムシ	269

## タ

ダイサンチク	195
タイトウクグ	225
タイミンチク	213

タイリクスズキ	283	タモロコ	277
タイリクバラタナゴ	279	ダンゴギク	168
タイワンアイアシ	206	ダンドク	179
タイワンシジミ	240	ダンドボロギク	165
タイワンツナソ	109		
タイワンドジョウ	284		
タイワンハマグリ	242		
タイワンホトトギス	183		
タイワンマダケ	213		
タウナギ	282		
タカサゴユリ	182		
タカナベイ	189		
ダキバアレチハナガサ	132		
タケトアゼナ	146		
タケノホソクロバ	254		
タスキガケサカマキガイ	234		
タチイヌノフグリ	148		
タチオランダゲンゲ	96		
タチスズメノヒエ	211		
タチスベリヒユ	55		
タチチコグサ	166		
タチテンモンドウ	180		
タチバナモドキ	88		
タツノツメガヤ	200		
タテジマフジツボ	243		
タバココナジラミ	250		
タバコシバンムシ	261		
タバコノミハムシ	269		
タブノキ	68		
タホウタウコギ	158		
タマオオスズメノカタビラ	215		
タマガラシ	81		
タマザキクサフジ	95		
タマザキフタバムグラ	125		
タマサンゴ	142		
タマシダ	42		
タマスダレ	185		
タマハジキタケ属種	229		
		チ	
		チクゴスズメノヒエ	210
		チゴフウロ	100
		チシマオドリコソウ	133
		チチコグサモドキ	167
		チチュウカイミドリガニ	246
		チマキザサ	216
		チャイロコキノコムシ	266
		チャイロコメノゴミムシダマシ	266
		チャコウラナメクジ	236
		チャゴマフカミキリ	268
		チャトゲコナジラミ	250
		チャネルキャットフィッシュ	281
		チャノキ	71
		チャバネゴキブリ	247
		チャボウシノシツペイ	203
		チャボタイゲキ	103
		チャボヒゲシバ	199
		チャボメヒシバ	200
		チャンチン	106
		チュウゴクオナガコバチ	272
		チュウゴクネジクチゴケ	227
		チューリップネアブラムシ	250
		チョウザメ科の1種	275
		チョウセンスナゴケ	227
		チョウセンブナ	284
		チョウセンレンギョウ	121
		チョロギガヤ	194
		ツ	
		ツキミセンノウ	59
		ツキミソウ	117

ツクシメナモミ	173	トウテイラン	146
ツタギク	173	トウネズミモチ	122
ツタノハヒルガオ	129	トウビシ	117
ツタバウンラン	144	トガリバツメクサ	95
ツチフキ	275	トキワサンザシ	89
ツヅリガ	255	トキワツユクサ	190
ツナソ	109	トクサオカチョウジガイ	235
ツノミオランダフウロ	99	ドクゼリモドキ	119
ツノミチョウセンアサガオ	138	ドクニンジン	119
ツノミナズナ	78	ドクムギ	208
ツブエノシメジ	230	トゲウラベニガサ	230
ツボミオオバコ	150	トゲオナモミ	178
ツマグロカミキリモドキ	267	トゲチシャ	170
ツマグロヒョウモン	257	トゲハリナスビ	143
ツメクサタコゾウムシ	270	トゲミゲシ	74
ツメクサタネコバンゾウムシ	271	トゲミノキツネノボタン	69
ツメクサダマシ	96	トゲムネデオネスイ	264
ツヤミジンマイマイ	235	トゲムラサキ	129
ツルタデ	49	トチュウ	47
ツルドクダミ	50	トネリコ	122
ツルニチニチソウ	123	トノサマガエル	285
ツルノゲイトウ	63	ドバト	291
ツルマンネングサ	86	トビイロデオネスイ	264
ツルムラサキ	56	トビカツオブシムシ	259
ツレザキヒルガオ	126	ドブネズミ	299
<b>テ</b>			
テツイロヒメカミキリ	267	トマトサビダニ	243
テッポウユリ	182	トマトダマシ	143
テリミノイヌホオズキ (垂れ実型)	141	トマトハモグリバエ	274
テンニンギク	166	トミサトオトギリ	71
テンニンチョウ	296	トミサトクサイ	189
<b>ト</b>			
ドイツズラン	181	<b>ナ</b>	
トウカエデ	107	ナガイモ	186
トウゴマ	103	ナガエコミカンソウ	103
		ナガエツルノゲイトウ	63
		ナガエモウセンゴケ	72
		ナガキンカン	105



ネバリノミノツヅリ	56	ハイビユ	64
ネビキミヤコグサ	92	ハイマキエハギ	92
ノ		ハイミチヤナギ	51
		バイモ	181
ノアサガオ	127	ハカマオニゲシ	73
ノウゼンカズラ	149	ハキダメガヤ	201
ノースポールギク	171	ハキダメギク	166
ノゲイトウ	66	バクガ	254
ノゲシバムギ	201	ハクチョウゲ	125
ノコギリソウモドキ	153	ハクビシン	300
ノシメマダラメイガ	255	バクヤギク	55
ノスズメノテッポウ	193	ハクレン	278
ノヂシャ	151	バケヌカボ	192
ノハカタカラクサ	190	ハコベホオズキ	141
ノハライシノシタ	236	ハシカグサモドキ	125
ノハラカゼクサ	202	バショウ	226
ノハラガラシ	83	ハス	70
ノハラジャク	119	ハス	278
ノハラダイオウ	53	ハゼラン	55
ノハラツメクサ	59	パセリ	120
ノハラナデシコ	56	ハタケニラ	182
ノハラナメクジ	237	ハタザオガラシ	83
ノハラムラサキ	130	ハタザオギキョウ	152
ノバリケン	288	ハチク	213
ノボロギク	173	ハツカチョウ	297
ノミノコブスマ	60	ハツカネズミ	298
ノムラサキ	130	パツラマイマイ	236
ノラニンジン	120	ハトノチャヒキ	197
ハ		ハトムギ	199
		ハナアザミウマ	252
ハイアオイ	111	ハナイソギク	161
ハイイロヨモギ	155	ハナガサギク	172
ハイオオバコ	150	ハナカタバミ	98
ハイキジムシロ	88	ハナガメ	286
ハイキンボウゲ	69	ハナカンナ	179
ハイコヌカグサ	192	ハナクサキビ	208
ハイニシキソウ	102	ハナダイコン	82
		ハナツクバネウツギ	151

ハナヅルソウ	54	ヒイラギモクセイ	122
ハナナ	77	ヒガンバナ	184
ハナニラ	183	ヒゲガヤ	200
ハナヌカススキ	192	ヒゲギネアキビ (仮称)	209
ハナハマセンブリ	123	ヒゲナガスズメノチャヒキ	197
ハナビザクロソウ	54	ヒゴスミレ	113
ハナビシソウ	73	ヒサウチソウ	144
ハナヤエムグラ	125	ヒジキゴケ	228
ハハコグサ	166	ビゼンナリヒラ	217
ハブタエモノアラガイ	233	ヒタチマイマイ	238
ハマカキネガラシ	83	ヒトフサニワゼキショウ	188
ハマガヤ	207	ヒナウキクサ	221
ハマグリ	241	ヒナウンラン	144
ハマシメジ	229	ヒナキキョウソウ	152
ハマチャヒキ	197	ヒナゲシ	74
ハマニンニク	207	ヒナツメクサ	97
ハマヒサカキ	71	ヒノキ	42
ハマワスレナグサ	131	ヒマワリ	168
ハラジロカツオブシムシ	260	ヒメアオゲイトウ	64
パラワンオオヒラタクワガタ	258	ヒメアマ	101
ハラン	181	ヒメアマナズナ	78
ハリエンジュ	94	ヒメアメリカアゼナ	145
ハリゲナタネ	77	ヒメウキクサ	222
ハリゲヤグルマハッカ	135	ヒメウコギ	118
バリケン	288	ヒメオドリコソウ	134
ハリナスビ	143	ヒメカツオブシムシ	259
ハリノホ	205	ヒメカナリークサヨシ	212
ハリヒメハギ	106	ヒメキンセンカ	158
ハリビユ	66	ヒメクマツヅラ	132
ハルガヤ	194	ヒメケイヌホオズキ	142
ハルザキヤマガラシ	76	ヒメコハクガイ	237
ハルジオン	165	ヒメコバンソウ	196
ハルシャギク	163	ヒメジョオン	165
パンパスグラス	199	ヒメシロビユ	64
ヒ		ヒメスイバ	51
ヒイラギナンテン	70	ヒメセトガヤモドキ	212
		ヒメダカ	283
		ヒメタツノツメガヤ	200

ヒメツルウンラン	145	ビワヒガイ	279
ヒメツルソバ	50	フ	
ヒメナンヨウガヤツリ	226	ファイリカツオブシムシ	260
ヒメヌカススキ	192	ファイリゲンジスミレ	113
ヒメハマアカザ	62	フウセンカズラ	107
ヒメハルガヤ	193	フェレット	299
ヒメヒオウギズイセン	186	フサジュンサイ	70
ヒメビジョザクラ	133	フサフジウツギ	144
ヒメヒマワリ	169	フジアザミ	161
ヒメヒレアザミ	159	フシネキンエノコロ	217
ヒメフウロ	100	フタオビツヤゴミムシダマン	266
ヒメフタトゲホソヒラタムシ	264	ブタクサ	154
ヒメブタナ	169	ブタクサハムシ	269
ヒメボクトウ	253	ブタクサモドキ	154
ヒメマツバボタン	55	フタトゲホソヒラタムシ	264
ヒメムカシヨモギ	162	ブタナ	169
ヒメムツオレガヤツリ	224	フッキソウ	108
ヒメムラサキフウチョウ	75	ブドウホオズキ	140
ヒメモロコシ	218	フナバシソウ	170
ヒメヤシャブシ	46	フユアオイ	111
ヒメリュウキンカ	69	フヨウ	110
ヒユ	65	フヨウカタバミ	99
ビヨウヤナギ	72	ブライダルベール	189
ヒラタキクイムシ	261	フラサバソウ	148
ヒラマキミズマイマイ類	234	ブラジルコミカンソウ	105
ヒルザキツキミソウ	117	プラタナスグンバイ	248
ヒレタゴボウ	116	フランスギク	171
ヒレハリギク	160	フリソデヤナギ	46
ヒレハリソウ	131	ブルーギル	283
ビロードクサフジ	98	プレコ	281
ビロードホオズキ	140	フロリダマミズヨコエビ	245
ビロードモウズイカ	147	ブンチョウ	295
ヒロハウシノケグサ	204	へ	
ヒロハシャゼンオモダカ	178	ペカン	43
ヒロハフウリンホオズキ	139	へキチョウ	295
ヒロハホウキギク	156		
ヒロヘリアオイラガ	254		
ビワ	87		



マツヨイセンノウ	58	ミナミキイロアザミウマ	252
マデイラコナカイガラムシ	251	ミナミトゲヘリカメムシ	248
マテバシイ	46	ミナミメダカ	283
マメアサガオ	127	ミノボロモドキ	216
マメガキ	121	ミミイヌガラシ	82
マメカミツレ	163	ミミヒダハゲワシ	289
マメグンバイナズナ	81	ミヤガラシ	82
マメハモグリバエ	274	ミヤコグサモドキ	94
マルバアサガオ	128	ミヤコゼニゴケ	228
マルバアメリカアサガオ	127	ミヤコタナゴ	280
マルバツユクサ	189	ミヤコワスレ	156
マルバトゲチシャ	170	ミヤマハタザオ	76
マルバハッカ	134	ミヤマヨメナ	156
マルバフジバカマ	153	ミヨウガ	226
マルバマンネングサ	85		
マルバルコウ	127	ム	
マンゴーツメハダニ	243	ムカゴオオウシノケグサ	205
マンテマ	59	ムギクサ	206
≡		ムギツク	279
		ムクゲ	110
ミカヅキゼニゴケ	228	ムクゲチャヒキ	196
ミカンキイロアザミウマ	251	ムクロジ	108
ミシシippアカミミガメ	285	ムサシアブミ	220
ミジンコウキクサ	222	ムシトリナデシコ	58
ミジンマイマイ	235	ムシトリマンテマ	58
ミズカンナ	227	ムラサキイガイ	239
ミスジナガハグサ	215	ムラサキイガヤグルマギク	159
ミズヒマワリ	168	ムラサキウマゴヤシ	93
ミチタネツケバナ	78	ムラサキウンラン	145
ミチヤナギ	51	ムラサキオオエノコロ	218
ミツバオオハンゴンソウ	172	ムラサキカタバミ	98
ミツモトソウ	88	ムラサキツメクサ	96
ミナトアカザ	62	ムラサキツユクサ	190
ミナトタムラソウ	137	ムラサキナギナタガヤ	219
ミナトムグラ	124	ムラサキノキビ	204
ミナミアオカメムシ	249	ムラサキハナナ	85
ミナミイシガメ	286	×	

メキシコマンネングサ	85	ヤナギバヒメジョオン	175
メグサハッカ	134	ヤネタビラコ	164
メダカ	283	ヤノネカイガラムシ	251
メノマンネングサ	86	ヤノネボンテンカ	112
メマツヨイグサ	116	ヤバネムギ	205
メリケンガヤツリ	224	ヤブチョロギ	137
メリケンカルカヤ	193	ヤマクルマ	230
メリケントキンソウ	174	ヤマゴボウ	53
メリケムグラ	124	ヤマトシジミ種群	241
		ヤマムスメ	297
		ヤミヨキセワタ	233
		ヤリタナゴ	280
		ヤンバルミチヤナギ	51
		<b>ユ</b>	
		ユーカリハムシ	269
		ユウゲショウ	117
		ユキヤナギ	90
		ユズ	104
		ユメノシマガヤツリ	223
		ユリズイセン	185
		ユリノキ	67
		<b>ヨ</b>	
		ヨウシュチョウセンアサガオ	138
		ヨウシュハッカ	134
		ヨウシュヤマゴボウ	53
		ヨーロッパアナウサギ	298
		ヨーロッパケナガイタチ	299
		ヨーロッパフジツボ	244
		ヨコヅナサシガメ	248
		ヨコハママンネングサ	86
		ヨモギギク	176
		<b>ラ</b>	
		ラッキョウ	179
		ラッパズイセン	185
メキシコマンネングサ	85		
メグサハッカ	134		
メダカ	283		
メノマンネングサ	86		
メマツヨイグサ	116		
メリケンガヤツリ	224		
メリケンカルカヤ	193		
メリケントキンソウ	174		
メリケムグラ	124		
<b>モ</b>			
モウコガマ	222		
モウズイカ	147		
モウソウチク	213		
モクゲンジ	108		
モクセイマルハダニ	243		
モノアラガイ類	233		
モミジアオイ	110		
モミジバスズカケノキ	85		
モミジバルコウソウ	128		
モモイロペリカン	287		
モロヘイヤ	109		
モンキジガバチ	273		
モンキジガバチ台湾亜種	273		
モンツキナガミヒナゲシ (仮称)	73		
<b>ヤ</b>			
ヤーコン	174		
ヤギムギ	190		
ヤグルマギク	159		
ヤグルマハッカ	135		
ヤサイゾウムシ	270		
ヤシャダケ	217		
ヤセウツボ	149		
ヤダケ	216		
ヤナギトウワタ	123		
ヤナギハナガサ	132		

ラミーカミキリ	268
ランヒメハダニ	242

## リ

リュウキュウチク	214
リュウキュウハゼ	107
リンゴスガ	254

## ル

ルイスアケハダニ	242
ルリニワゼキショウ	187
ルリムスカリ	182

## レ

レンコンネモグリセンチュウ	230
---------------	-----

## ロ

ロベリアソウ	152
--------	-----

## ワ

ワカサギ	281
ワサビ	80
ワスレイソシジミ	239
ワスレナグサ	131
ワタカ	278
ワタゲツルハナグルマ	155
ワタヘリクロノメイガ	254
ワタミヒゲナガゾウムシ	270
ワタリミヤコグサ	93
ワニガメ	287
ワラジムシ	245
ワルナスビ	142

千葉県の外来生物 初版（平成 24（2012）年度）

編集・発行 千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会

発行日 平成 25（2013）年 3 月 31 日（初版第 1 刷）

事務局 千葉県 環境生活部自然保護課 生物多様性センター

〒 260-0852 千葉市中央区青葉町 955-2 千葉県立中央博物館内

電話 043-265-3601 ファックス 043-265-3615

web サイト <http://www.bdcchiba.jp/>